



下水熱ポンシャルマップ 例

住宅給湯負荷相当の世帯数目安	下水熱ポテンシャル
15 ~ 300 世帯	516 ~ 10,322 [MJ/日]
301 ~ 3,000 世帯	10,356 ~ 103,216 [MJ/日]
3,001 ~ 世帯	103,251 ~ [MJ/日]

*集合住宅の給湯熱負荷原単位：126[MJ/m²年]（空衛学会）

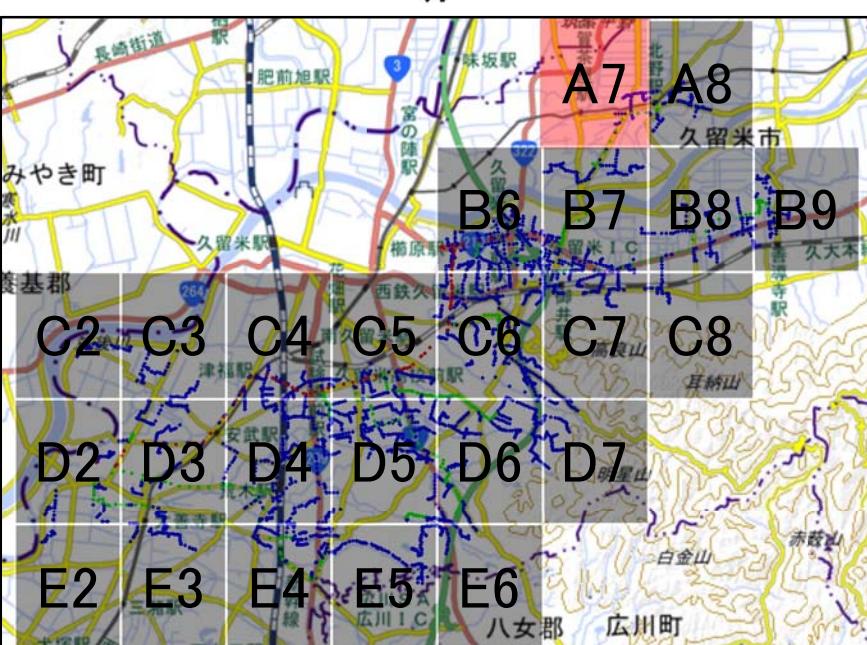
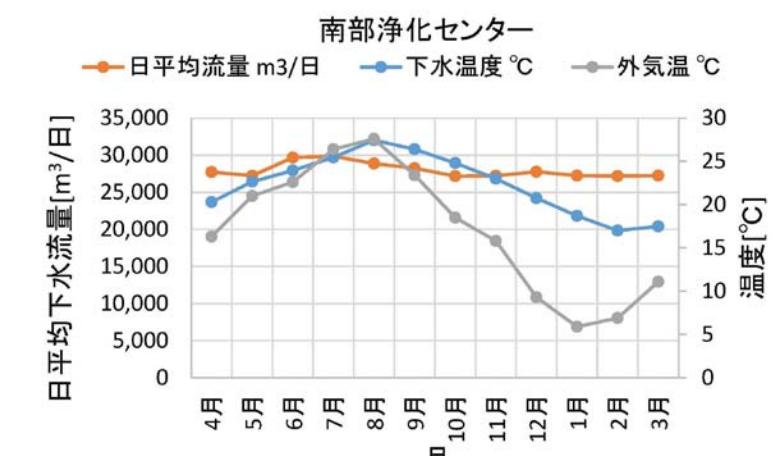
住宅 1 世帯の延床面積を 100m^2 と想定。

*ポテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

※冬季のポテンシャル

※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の
平成29年度3月時点作成したものである。

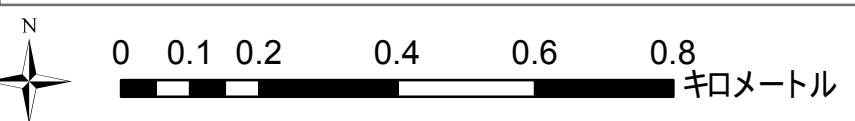
項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量（南都浄化センター）	平成27年度

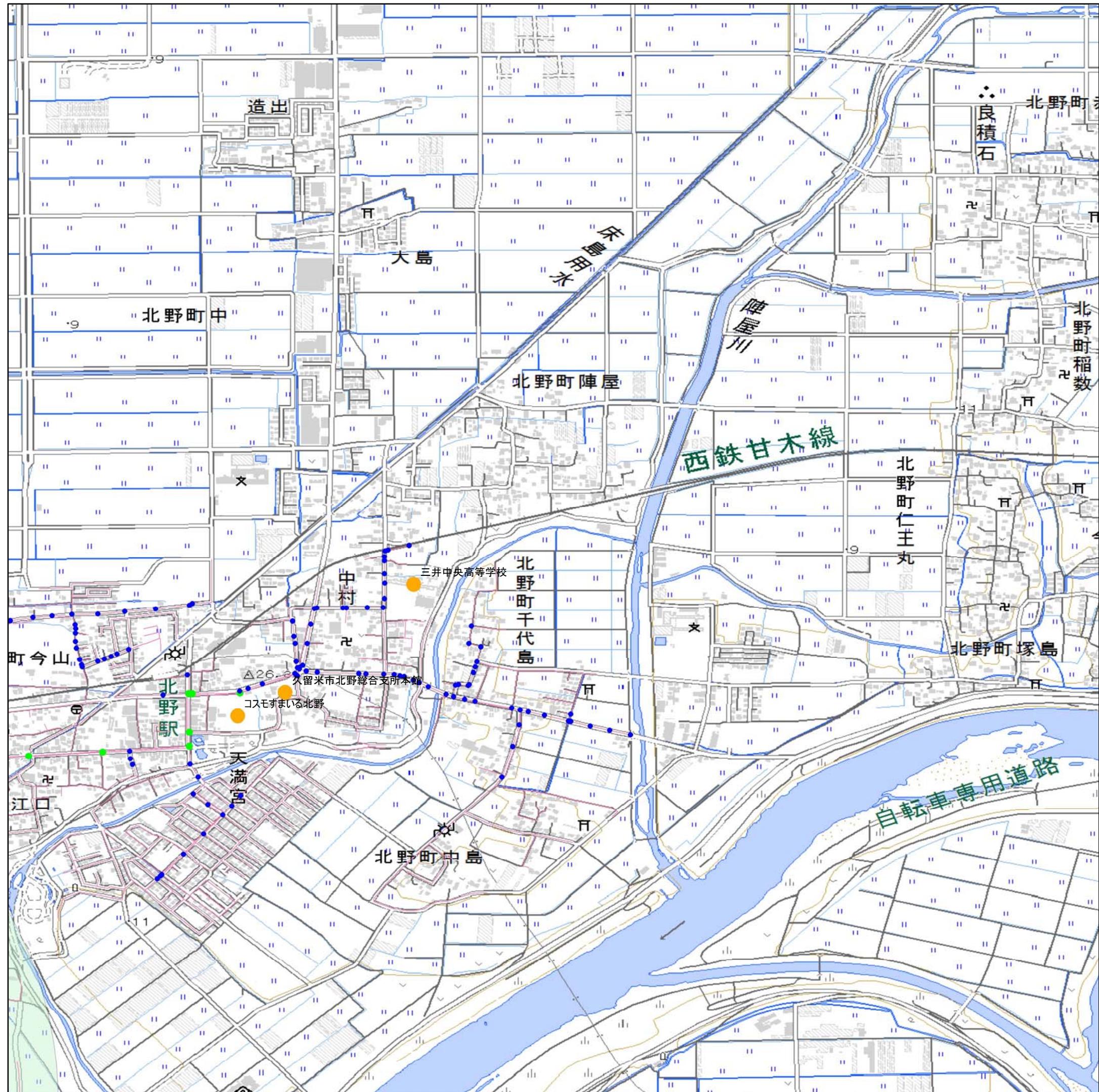


【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポтенシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差 5°C としてポテンシャルを推計している。○推計に用いたデータは別表とのおりであり、その後の変化は反映されていない。

○代表日の晴天日ポテンシャルを推計して

【図地イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
たかべコレクションは、国土地理院「地図院地図二」<http://www.mlit.go.jp>を採用している。

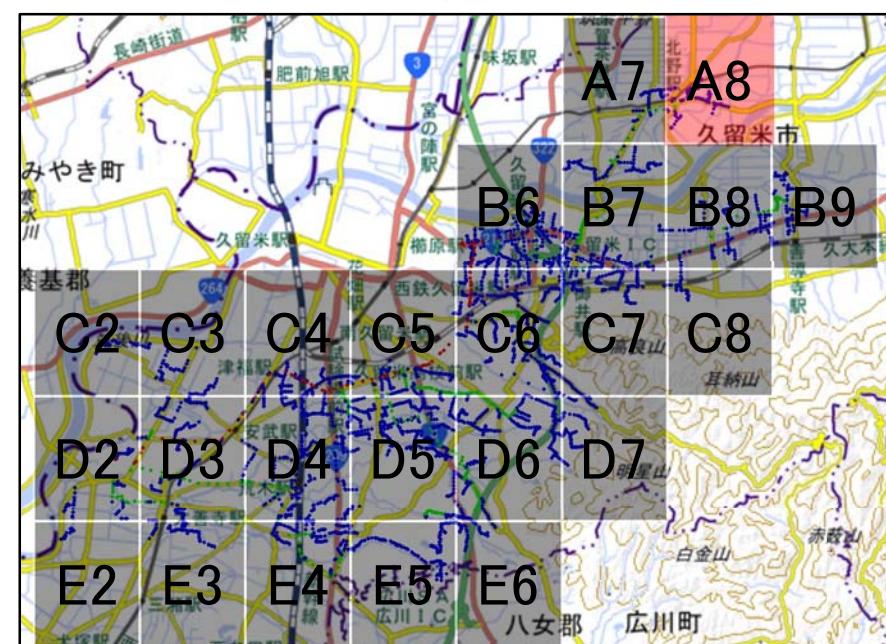
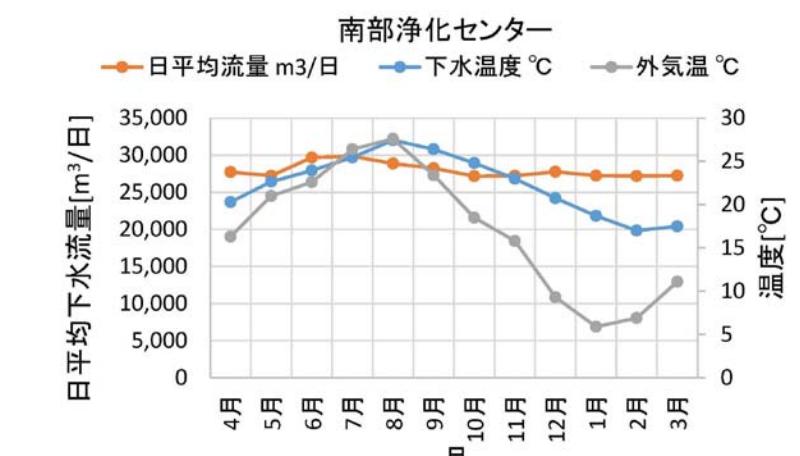




※冬期のボテンシャル

※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量 (南部浄化センター)	平成27年度



【注釈】

○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。

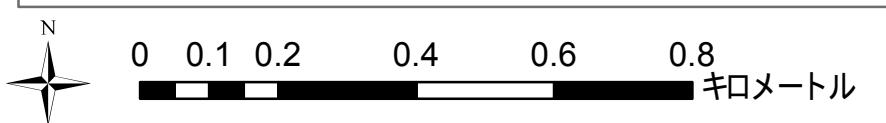
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。

○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。

【地図イメージの著作権について】

本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)

なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





下水熱ボテンシャルマップ 凡例

住宅給湯負荷相当の世帯数目安	下水熱ボテンシャル
15 ~ 300 世帯	516 ~ 10,322 [MJ/日]
301 ~ 3,000 世帯	10,356 ~ 103,216 [MJ/日]
3,001 ~ 世帯	103,251 ~ [MJ/日]

※集合住宅の給湯熱負荷原単位：126[MJ/m²年]（空調学会）

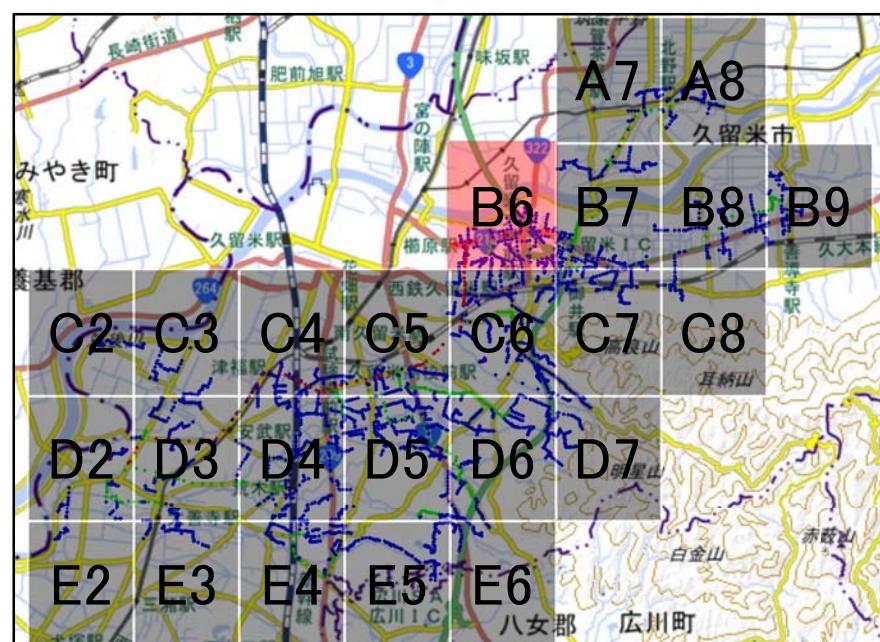
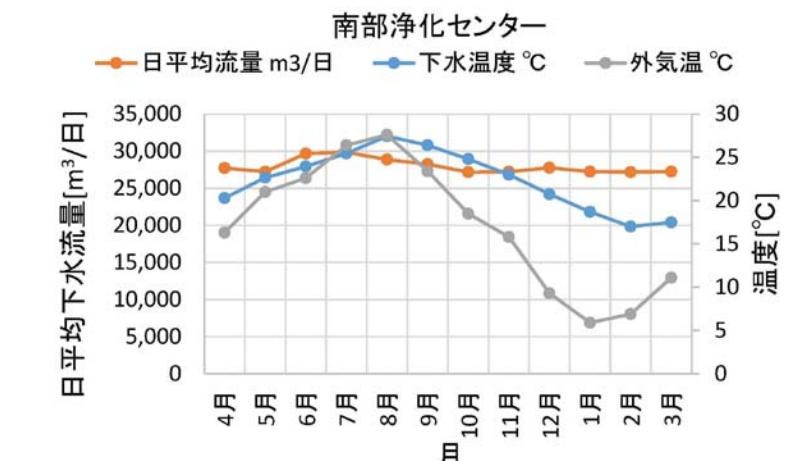
住宅1世帯の延床面積を100m²と想定。

※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

※冬期のボテンシャル

※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度



【注釈】

○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。

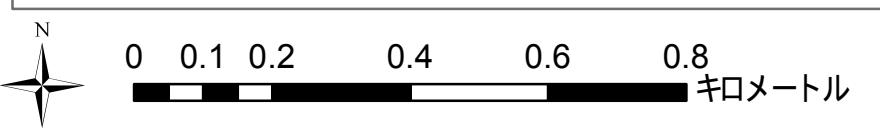
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。

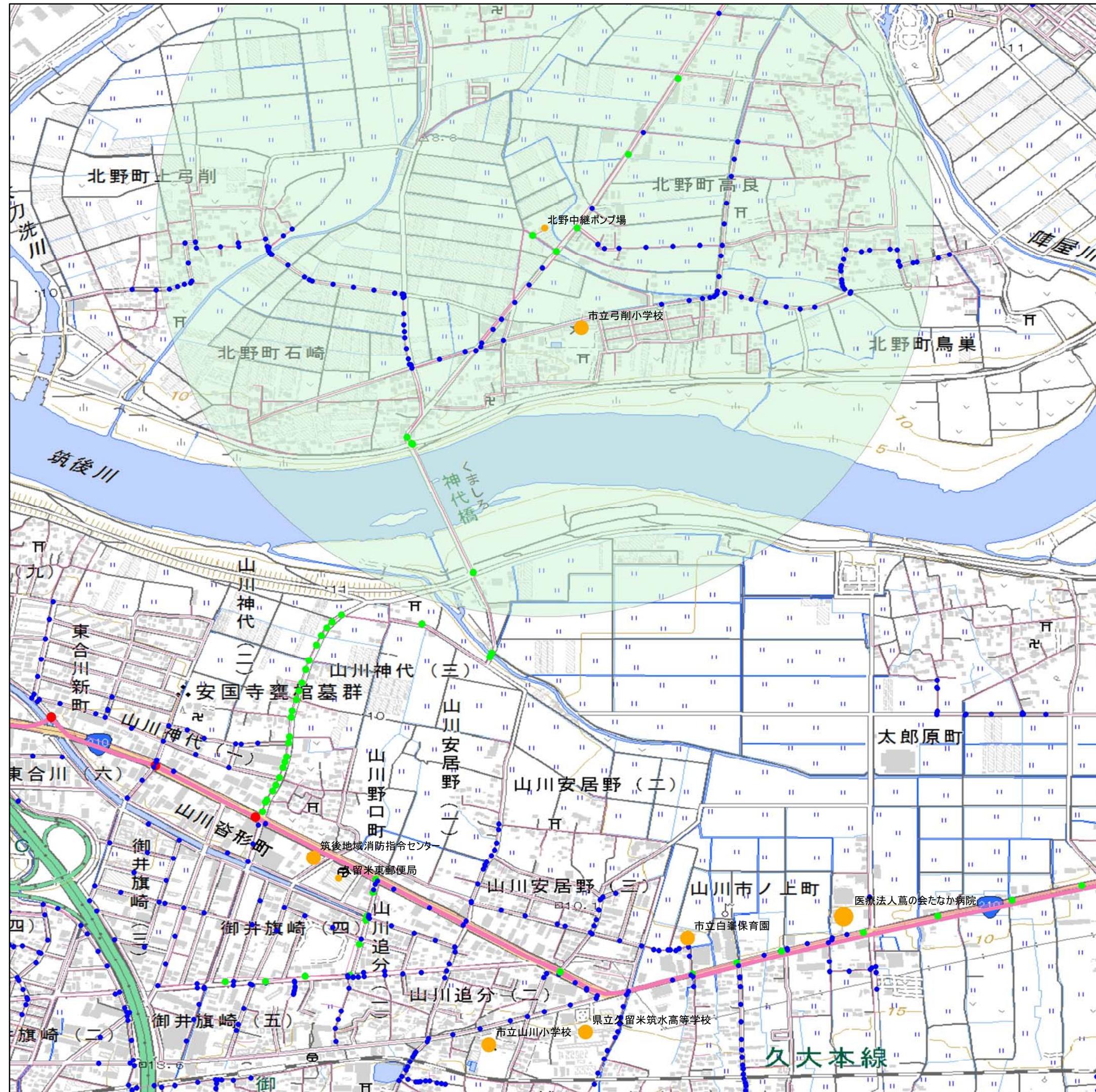
○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。

【地図イメージの著作権について】

本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)

なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。

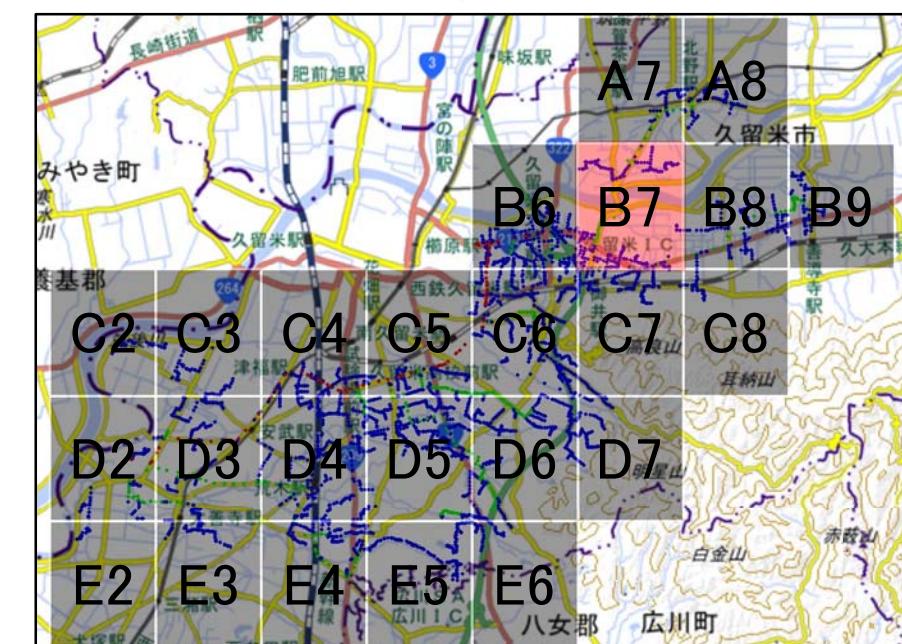
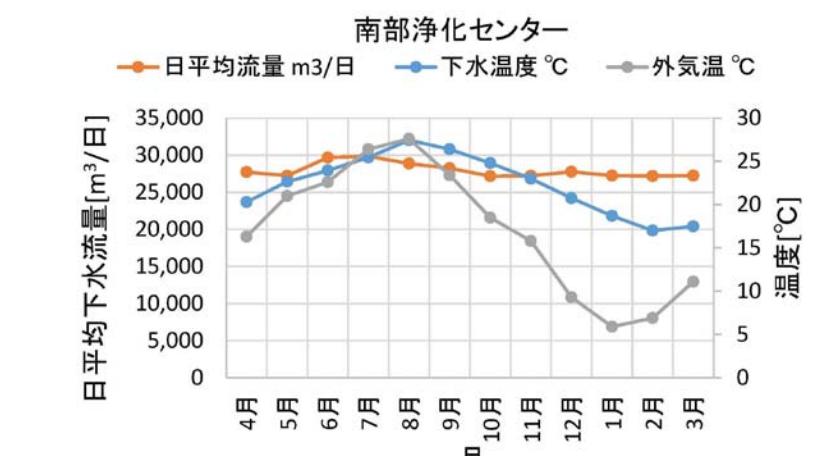




下水熱ポтенシャルマップ 凡例			
住宅給湯負荷相当の世帯数目安		下水熱ポтенシャル	
	15	～	300 世帯
	301	～	3,000 世帯
	3,001	～	世帯
			516 ～ 10,322 [MJ/日]
			10,356 ～ 103,216 [MJ/日]
			103,251 ～ [MJ/日]

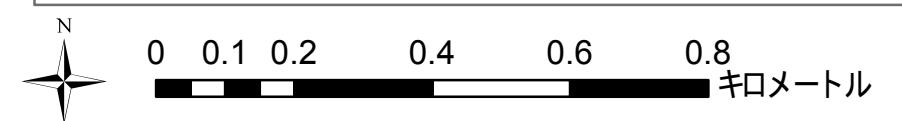
※冬期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料に
平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度	
下水道台帳	管路・人孔图形	平成27年度	100,000 - 100,000
	管路・人孔接続情報	平成27年度	100,000 -
建物データ	建物延床面積	平成28年度	管路
	位置情報	平成28年度	幹線管路
土地現況	图形	平成27年度	その他の管路
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度	



【注釈】
○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差 5°C としてボテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。

【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





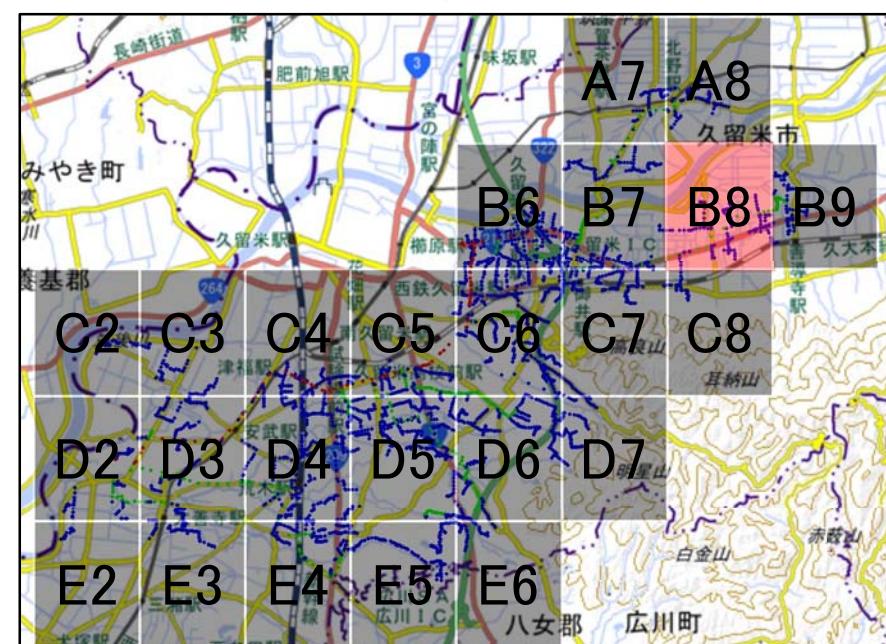
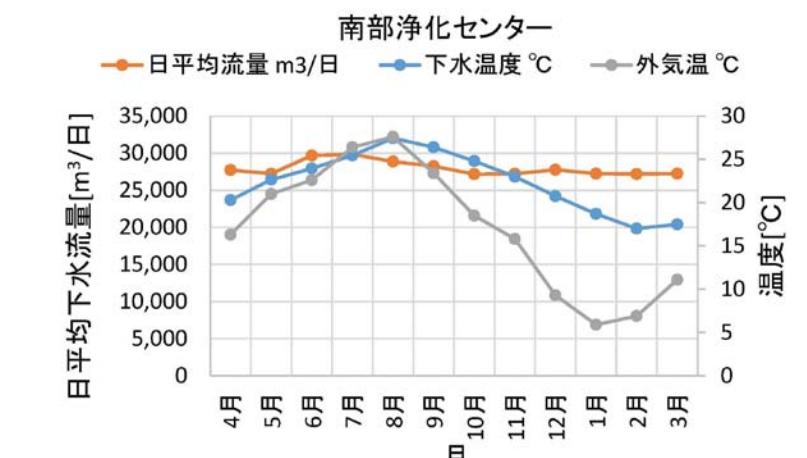
下水熱ボテンシャルマップ 凡例

住宅給湯負荷相当の世帯数目安		下水熱ボテンシャル	
15 ~ 300 世帯		516 ~ 10,322 [MJ/日]	
301 ~ 3,000 世帯		10,356 ~ 103,216 [MJ/日]	
3,001 ~ 世帯		103,251 ~ [MJ/日]	

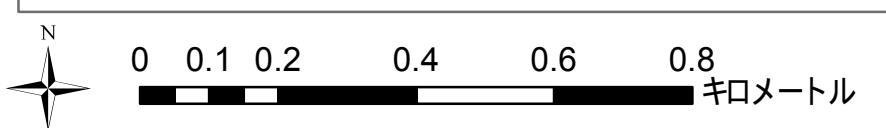
※集合住宅の給湯熱負荷原単位：126[MJ/m²年]（空衛学会）
 住宅1世帯の延床面積を100m²と想定。
 ※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

※冬期のボテンシャル
 ※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度



【注釈】
 ○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。
 ○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
 ○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
 【地図イメージの著作権について】
 本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
 (Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
 なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





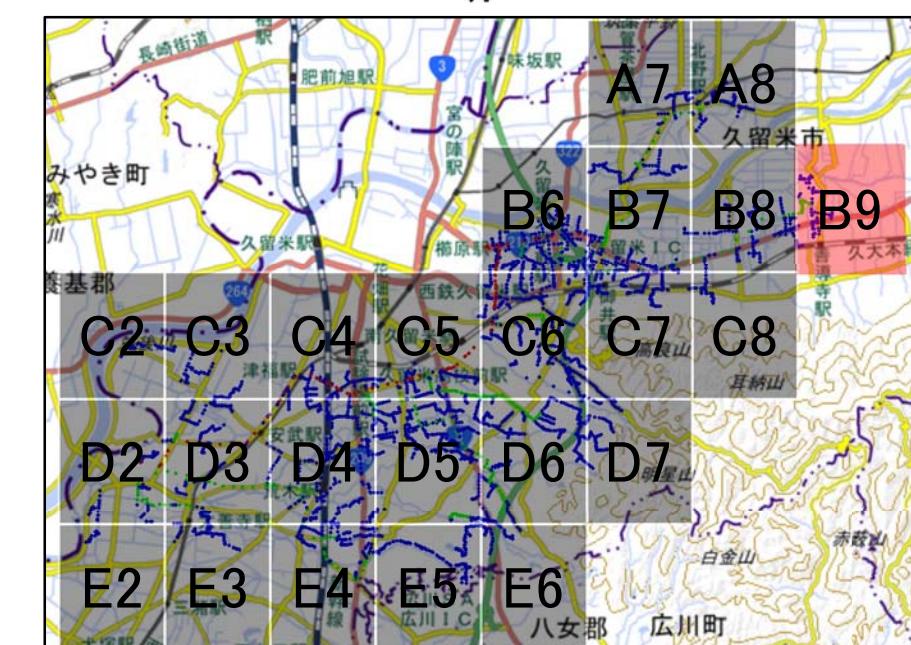
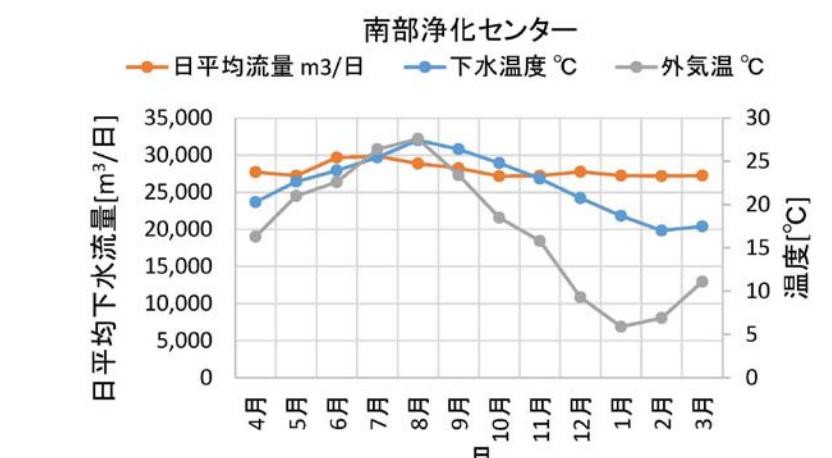
下水熱ボテンシャルマップ 凡例

住宅給湯負荷相当の世帯数目安	下水熱ボテンシャル
15 ~ 300 世帯	516 ~ 10,322 [MJ/日]
301 ~ 3,000 世帯	10,356 ~ 103,216 [MJ/日]
3,001 ~ 世帯	103,251 ~ [MJ/日]

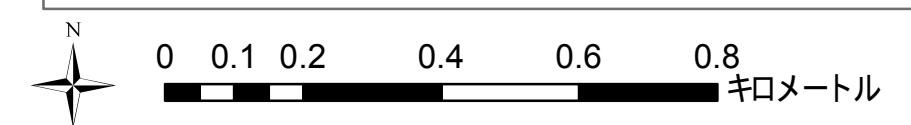
※集合住宅の給湯熱負荷原単位：126[MJ/m²年]（空調学会）
住宅1世帯の延床面積を100m²と想定。
※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

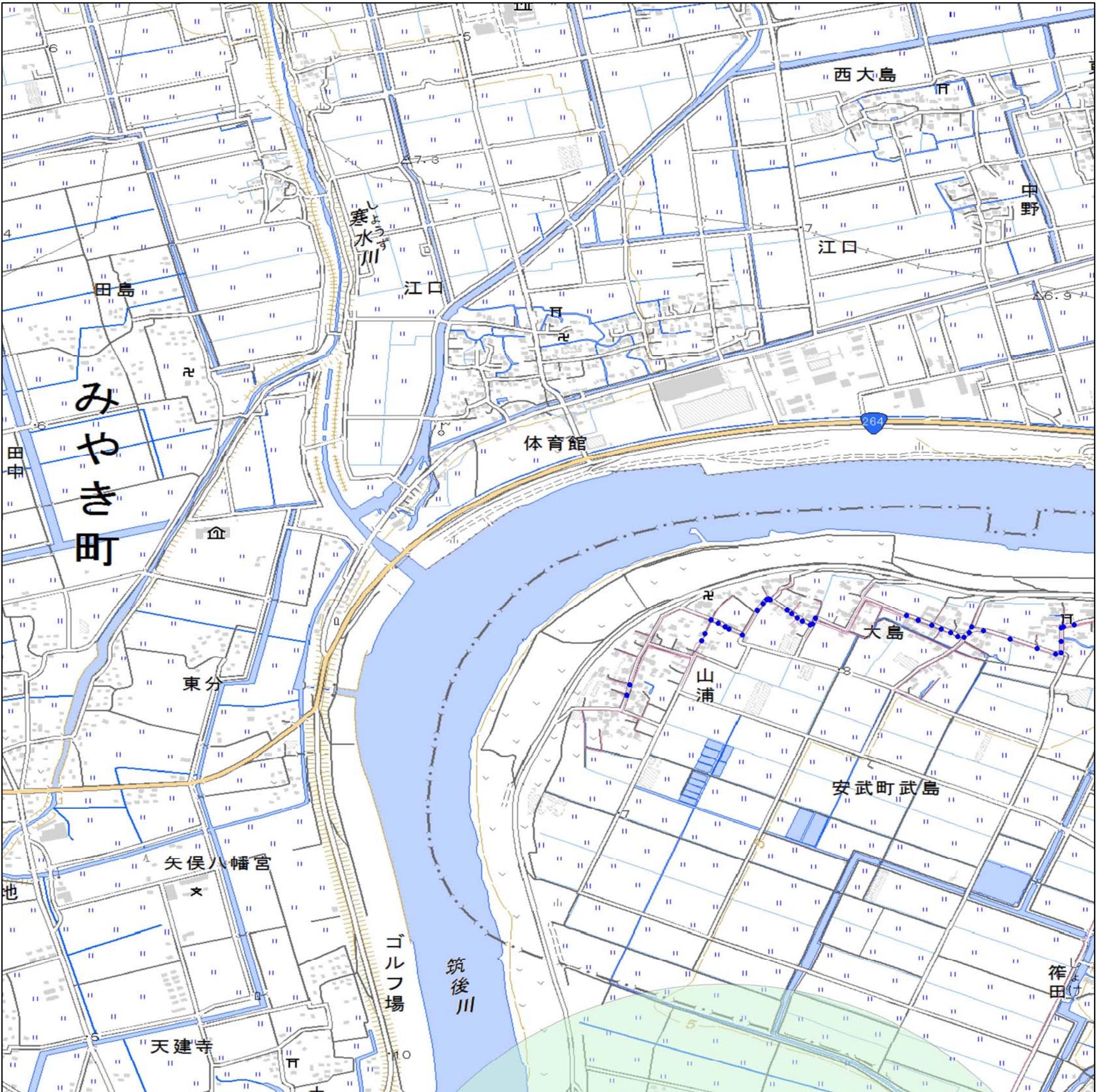
※冬期のボテンシャル
※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度



【注】
○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





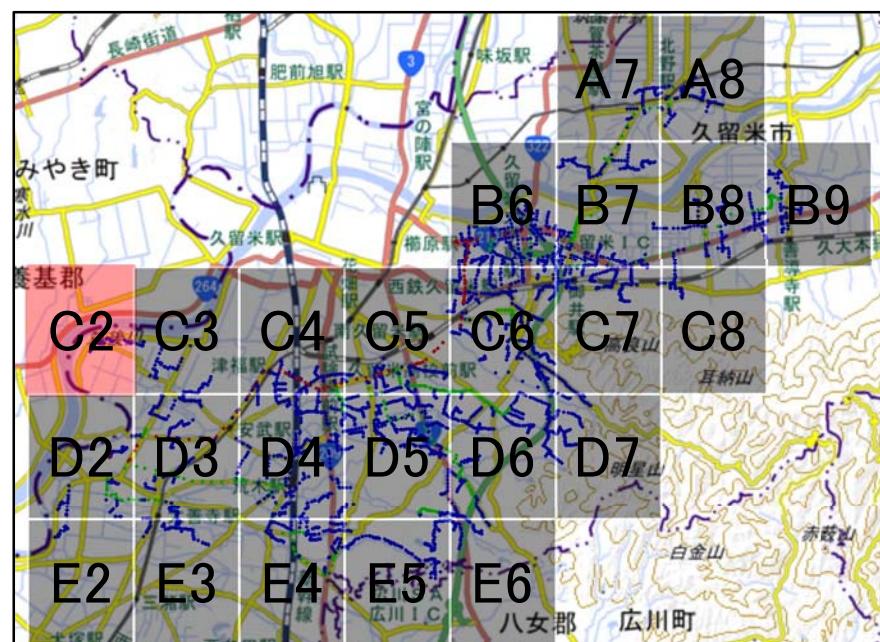
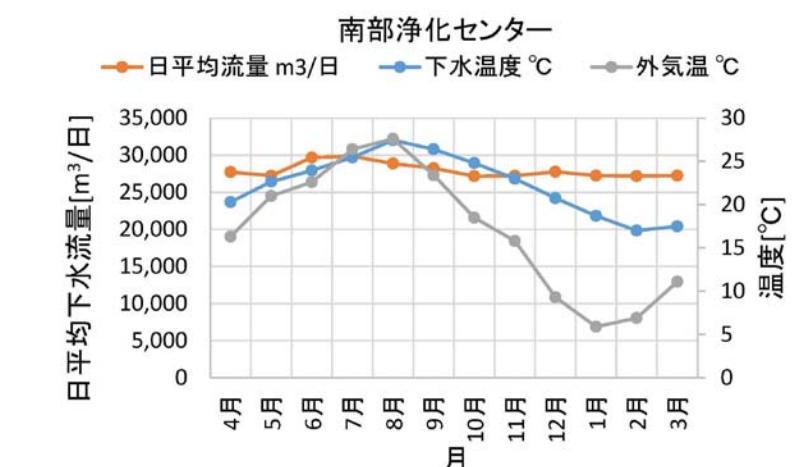
下水熱ボテンシャルマップ 凡例

住宅給湯負荷相当の世帯数目安	下水熱ボテンシャル
15 ~ 300 世帯	516 ~ 10,322 [MJ/日]
301 ~ 3,000 世帯	10,356 ~ 103,216 [MJ/日]
3,001 ~ 世帯	103,251 ~ [MJ/日]

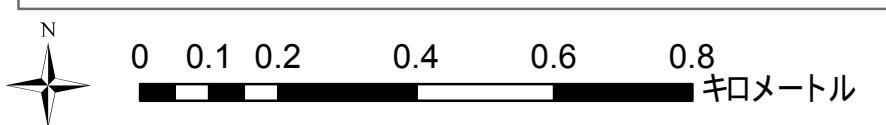
※集合住宅の給湯熱負荷原単位：126[MJ/m²年]（空調学会）
住宅1世帯の延床面積を100m²と想定。
※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

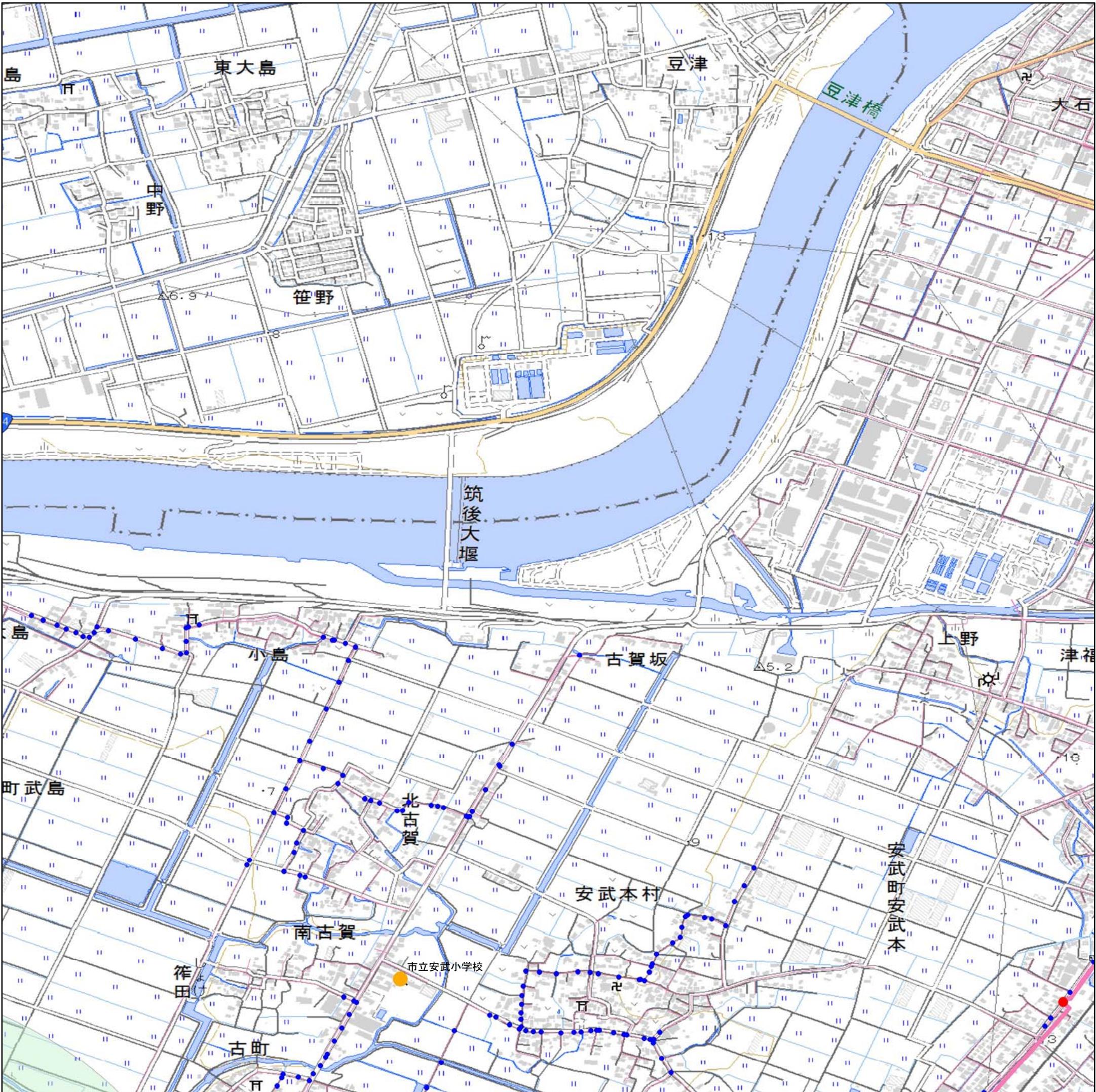
※冬期のボテンシャル
※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





下水熱ボテンシャルマップ 凡例

	15 ~ 300 世帯	下水熱ボテンシャル
	301 ~ 3,000 世帯	516 ~ 10,322 [MJ/日]
	3,001 ~ 世帯	10,356 ~ 103,216 [MJ/日]

103,251 ~ [MJ/日]

※集合住宅の給湯熱負荷原単位 : 126[MJ/m²年] (空衛学会)

住宅1世帯の延床面積を100m²と想定。

※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

※冬期のボテンシャル

※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

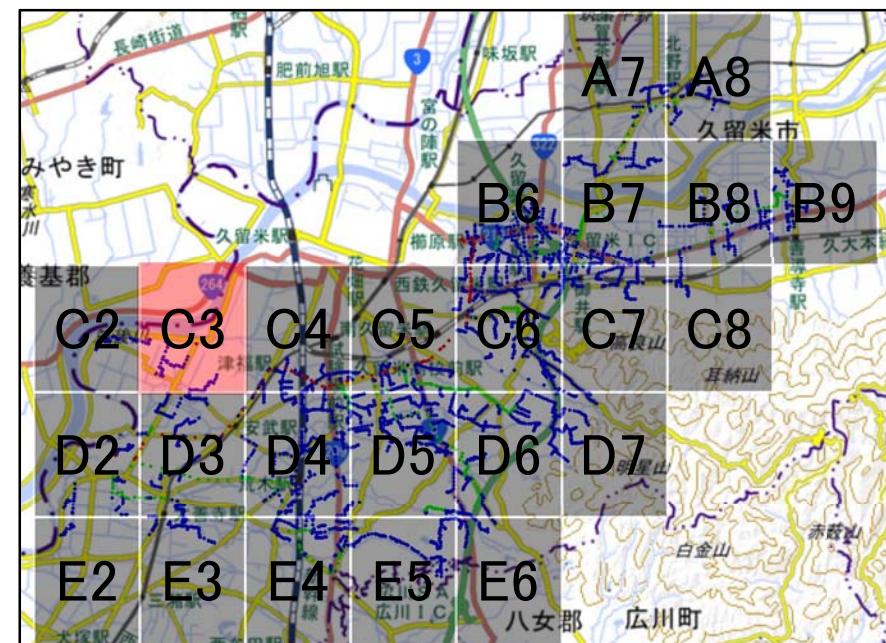
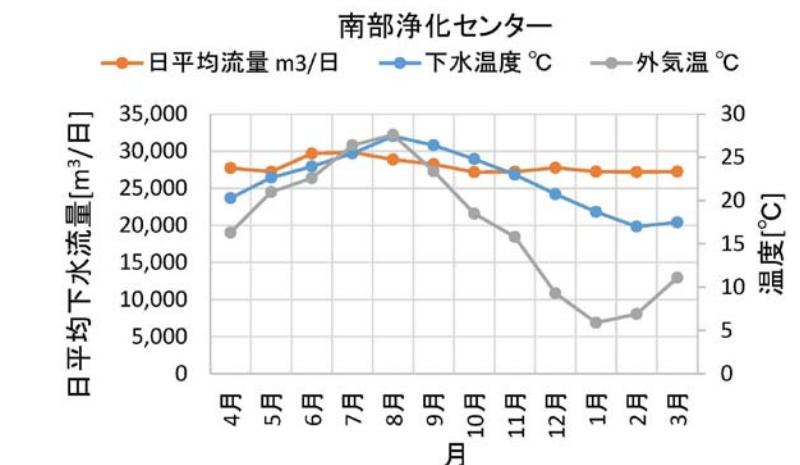
項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
	下水データ	下水流量 (南部浄化センター)

給湯熱需要量MJ/年

- 0 - 10,000
- 10,000 - 100,000
- 100,000 -

管路

- 幹線管路
- その他の管路



【注釈】

○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。

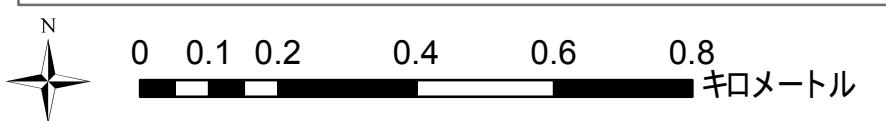
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。

○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。

【地図イメージの著作権について】

本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)

なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。

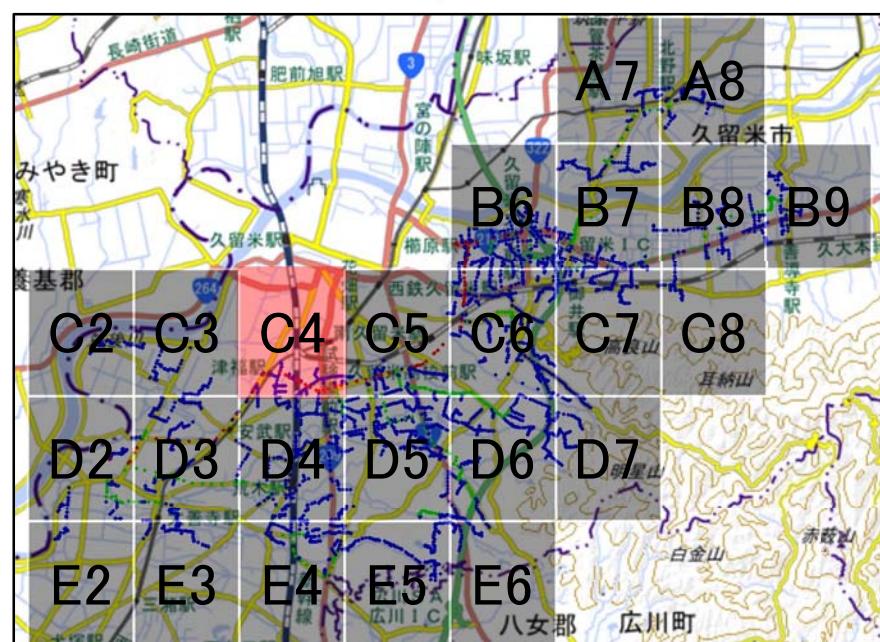
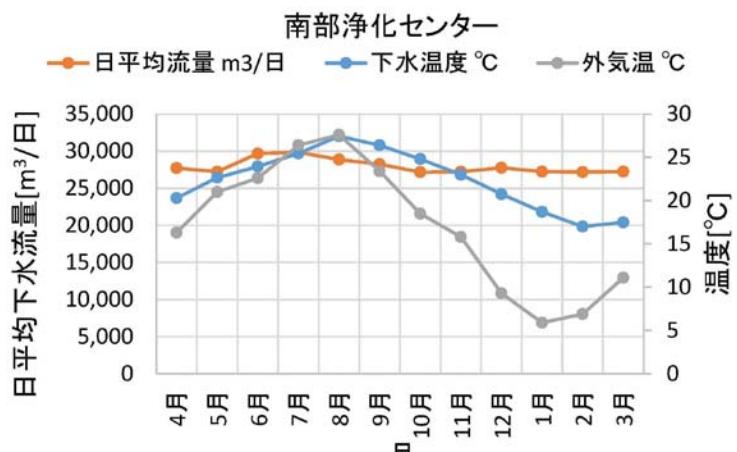




下水熱ポтенシャルマップ 凡例					
住宅給湯負荷相当の世帯数目安			下水熱ポтенシャル		
	15	～	300	世帯	516 ～ 10,322 [MJ/日]
	301	～	3,000	世帯	10,356 ～ 103,216 [MJ/日]
	3,001	～		世帯	103,251 ～ [MJ/日]

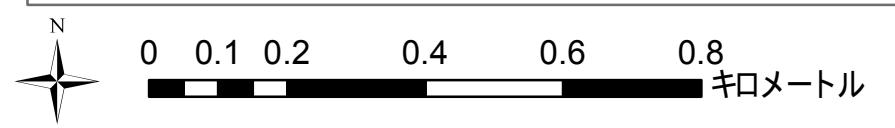
※冬期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、
平成29年度3月時点での作成したものである。

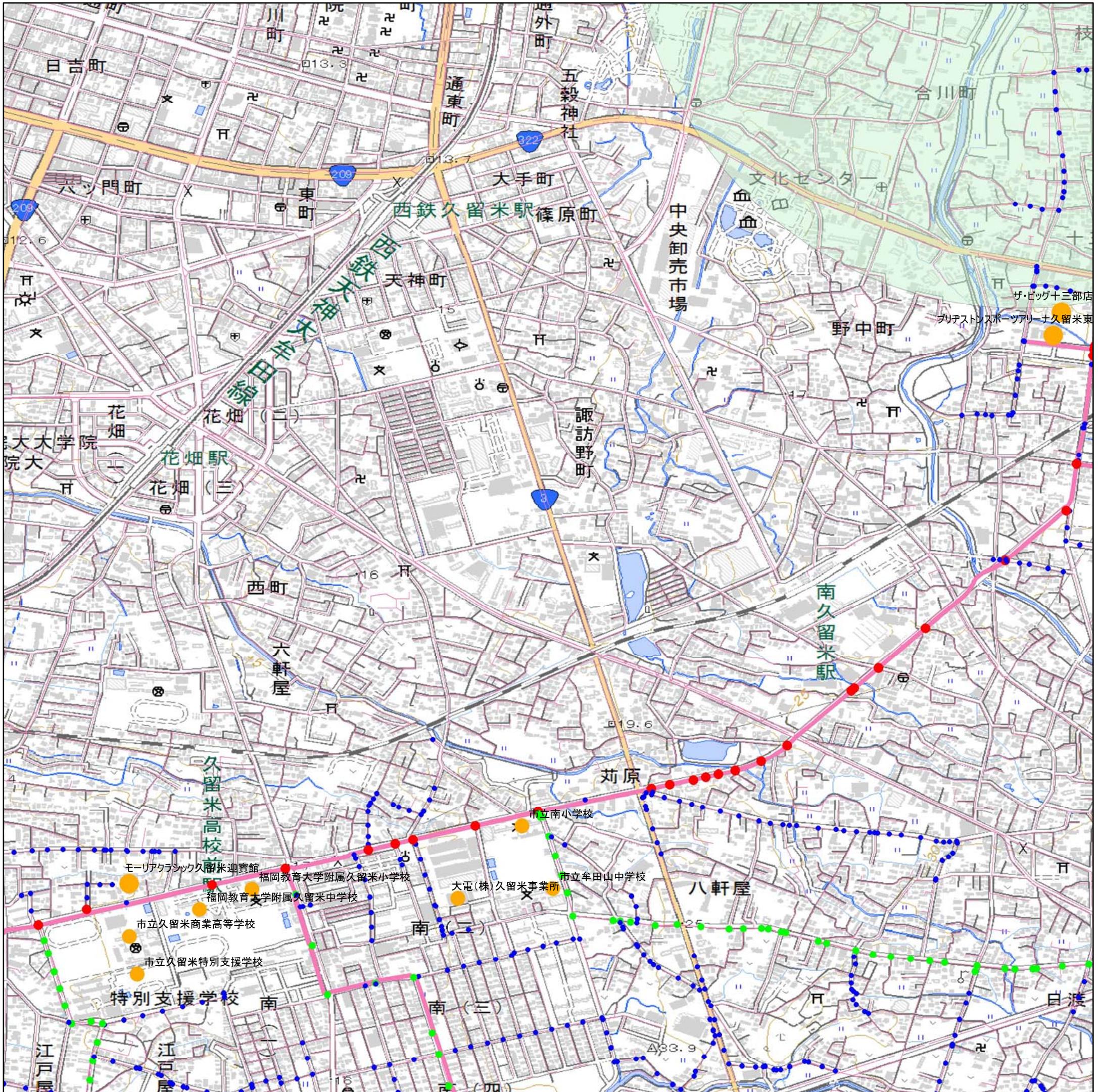
項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポтенシャルマップ(広域ポтенシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管・国土保全局下水道部)に基づき、
下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。

【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地図帳地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





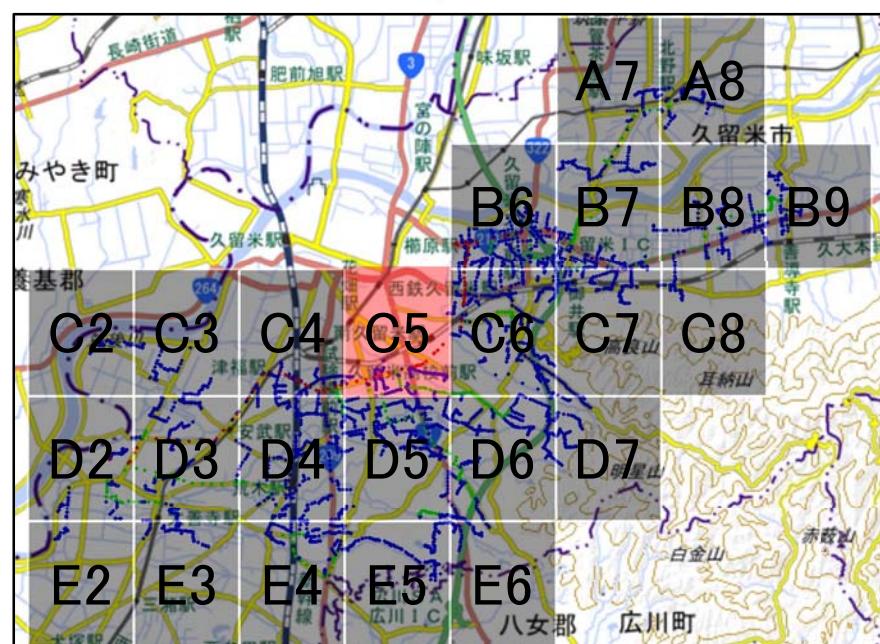
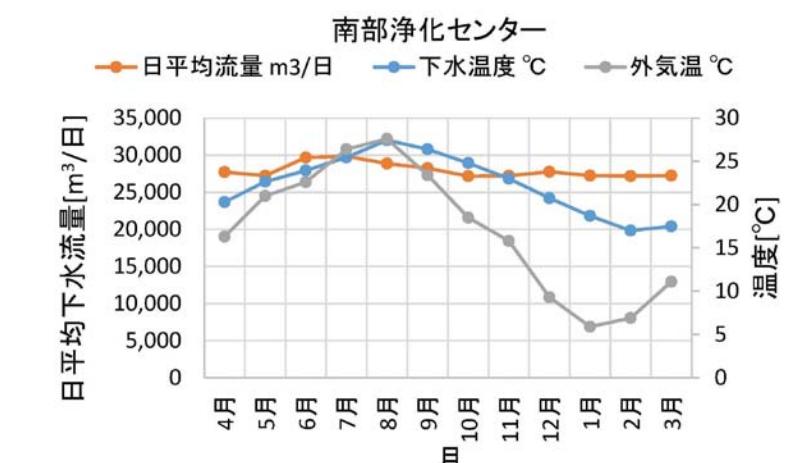
下水熱ボテンシャルマップ 凡例

住宅給湯負荷相当の世帯数目安		下水熱ボテンシャル	
15 ~	300 世帯	516 ~	10,322 [MJ/日]
301 ~	3,000 世帯	10,356 ~	103,216 [MJ/日]
3,001 ~	世帯	103,251 ~	[MJ/日]

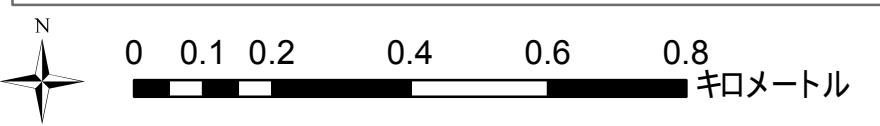
※集合住宅の給湯熱負荷原単位 : 126[MJ/m²年] (空衛学会)
住宅1世帯の延床面積を100m²と想定。
※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

※冬期のボテンシャル
※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
	下水データ	下水流量 (南部浄化センター)



【注釈】
○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。



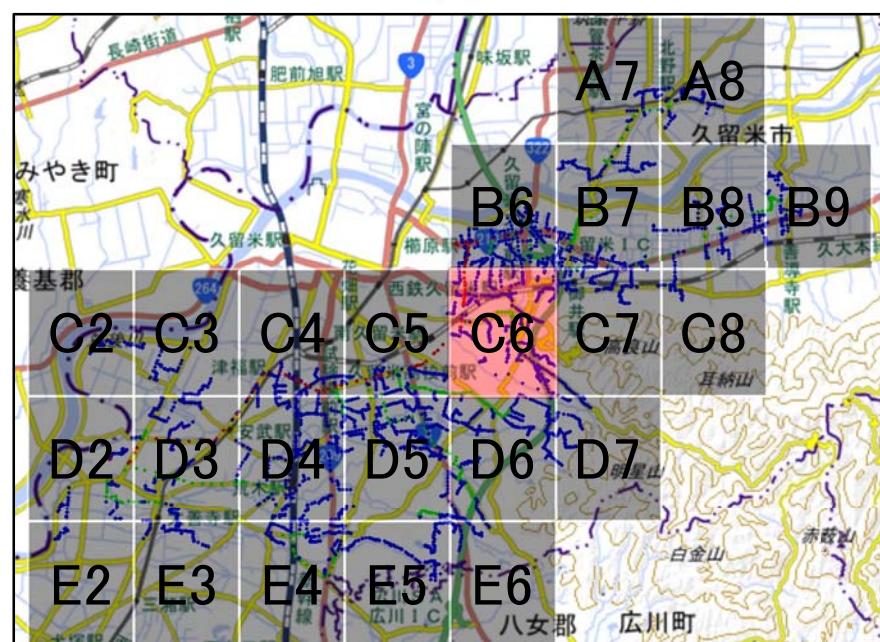
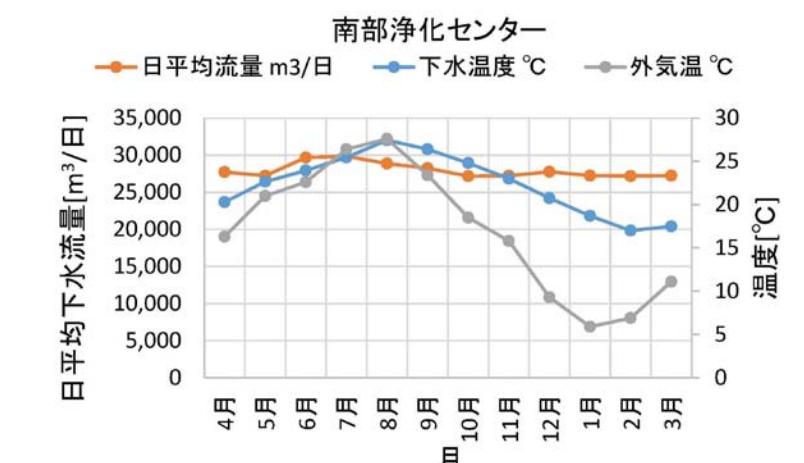


下水熱ボテンシャルマップ 凡例

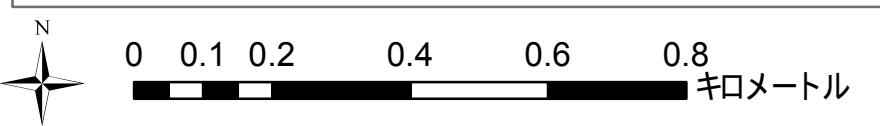
住宅給湯負荷相当の世帯数目安		下水熱ボテンシャル	
15	~	300 世帯	516 ~ 10,322 [MJ/日]
301	~	3,000 世帯	10,356 ~ 103,216 [MJ/日]
3,001	~	世帯	103,251 ~ [MJ/日]
※集合住宅の給湯熱負荷原単位：126[MJ/m ² 年]（空衛学会）			
住宅1世帯の延床面積を100m ² と想定。			
※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。			

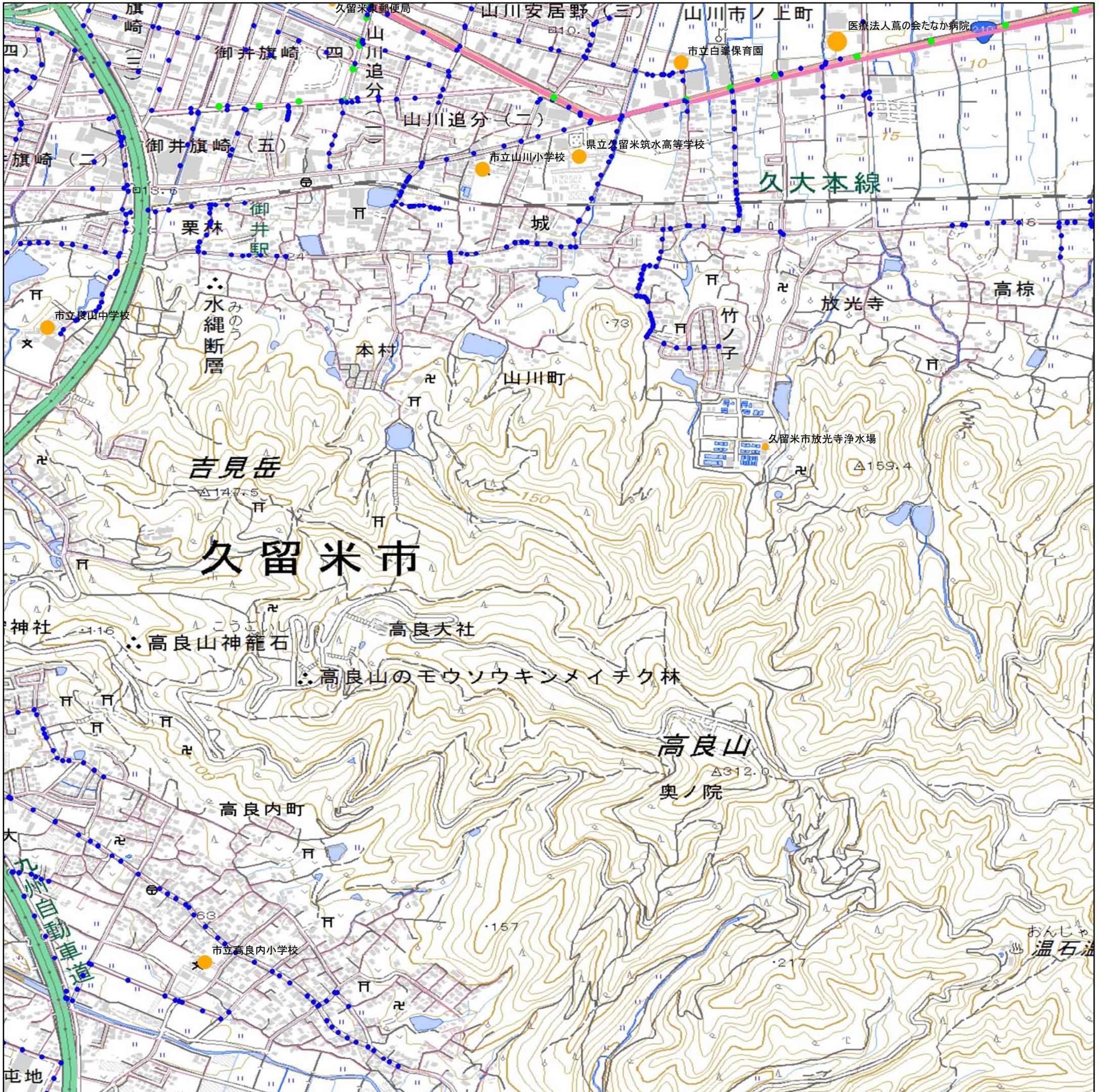
※冬期のボテンシャル
※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度



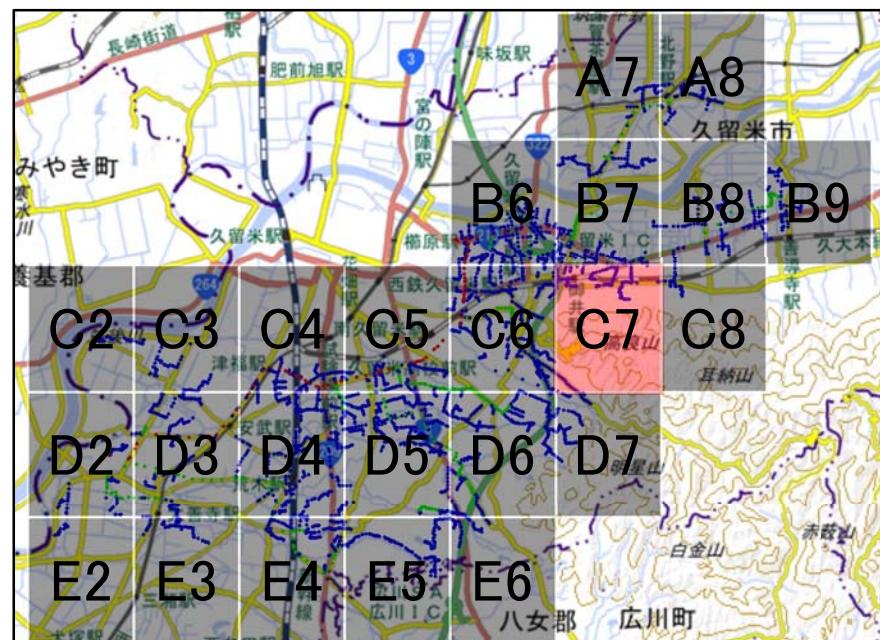
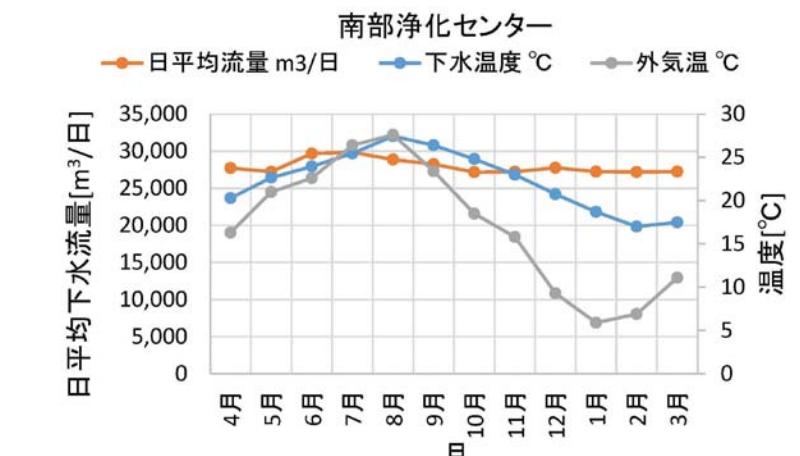
【注釈】
○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





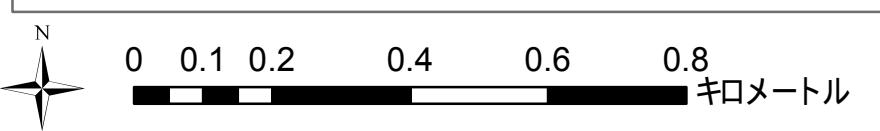
下水熱ボテンシャルマップ 凡例		
住宅給湯負荷相当の世帯数目安		下水熱ボテンシャル
15	~	300 世帯
301	~	3,000 世帯
3,001	~	世帯
516 ~ 10,322 [MJ/日]		
10,356	~	103,216 [MJ/日]
103,251	~	[MJ/日]
※集合住宅の給湯熱負荷原単位: 126[MJ/m ² 年] (空衛学会)		
住宅1世帯の延床面積を100m ² と想定。		
※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。		

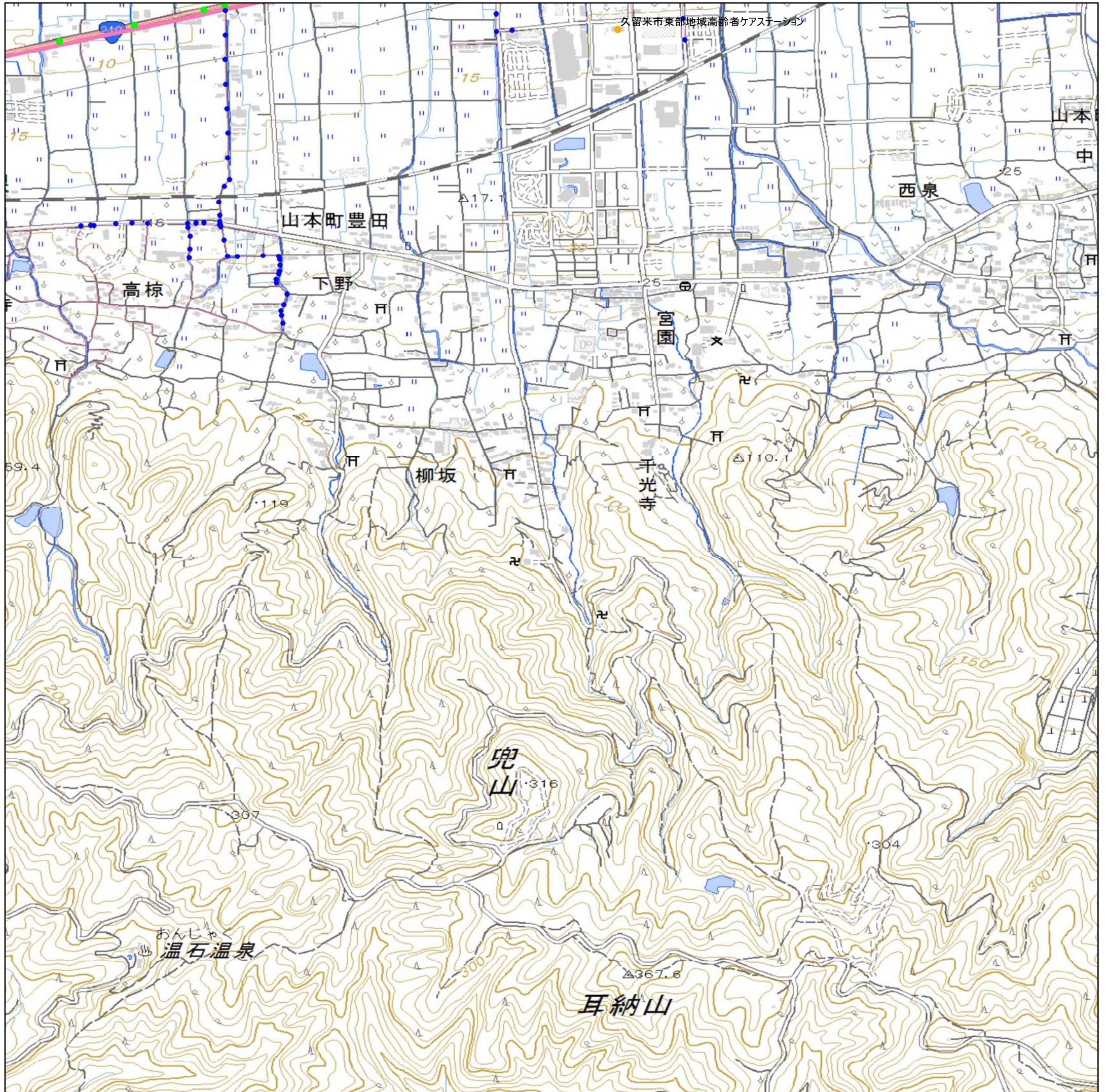
給湯熱需要量 MJ/年
0 ~ 10,000
10,000 ~ 100,000
100,000 ~
管路
幹線管路
その他の管路



【注釈】

- この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。
- 推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
- 代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
- 【地図イメージの著作権について】
- 本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
- なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





下水熱ポンシャルマップ 凡例

住宅給湯負荷相当の世帯数目安			下水熱ボテンシャル		
15	～	300 世帯	516	～	10,322 [MJ/日]
301	～	3,000 世帯	10,356	～	103,216 [MJ/日]
3,001	～	世帯	103,251	～	[MJ/日]

*集合住宅の給湯熱負荷原単位：126[MJ/m²年]（空衛学会）

住宅1世帯の延床面積を100m²と想定。

※ポテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

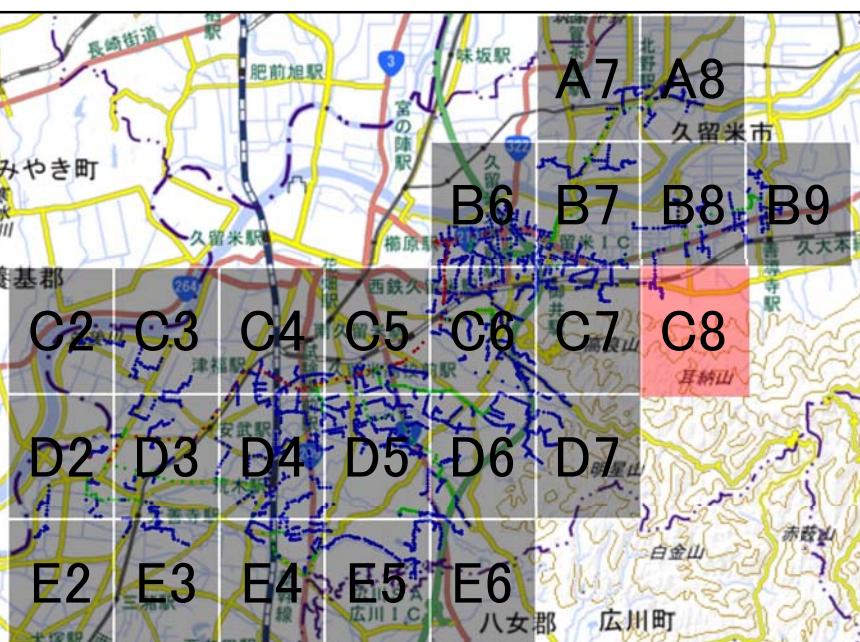
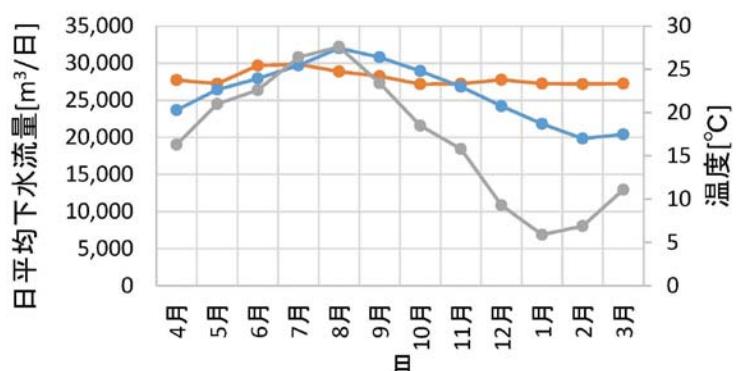
※冬季のポテンシャル

※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料をもとに
平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔图形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	图形	平成27年度
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度

南部净化センター

—● 日平均流量 m³/日 —● 下水温度 °C —● 外气温 °C



注釈】

「この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてボテンシャルを推計している。下推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。」

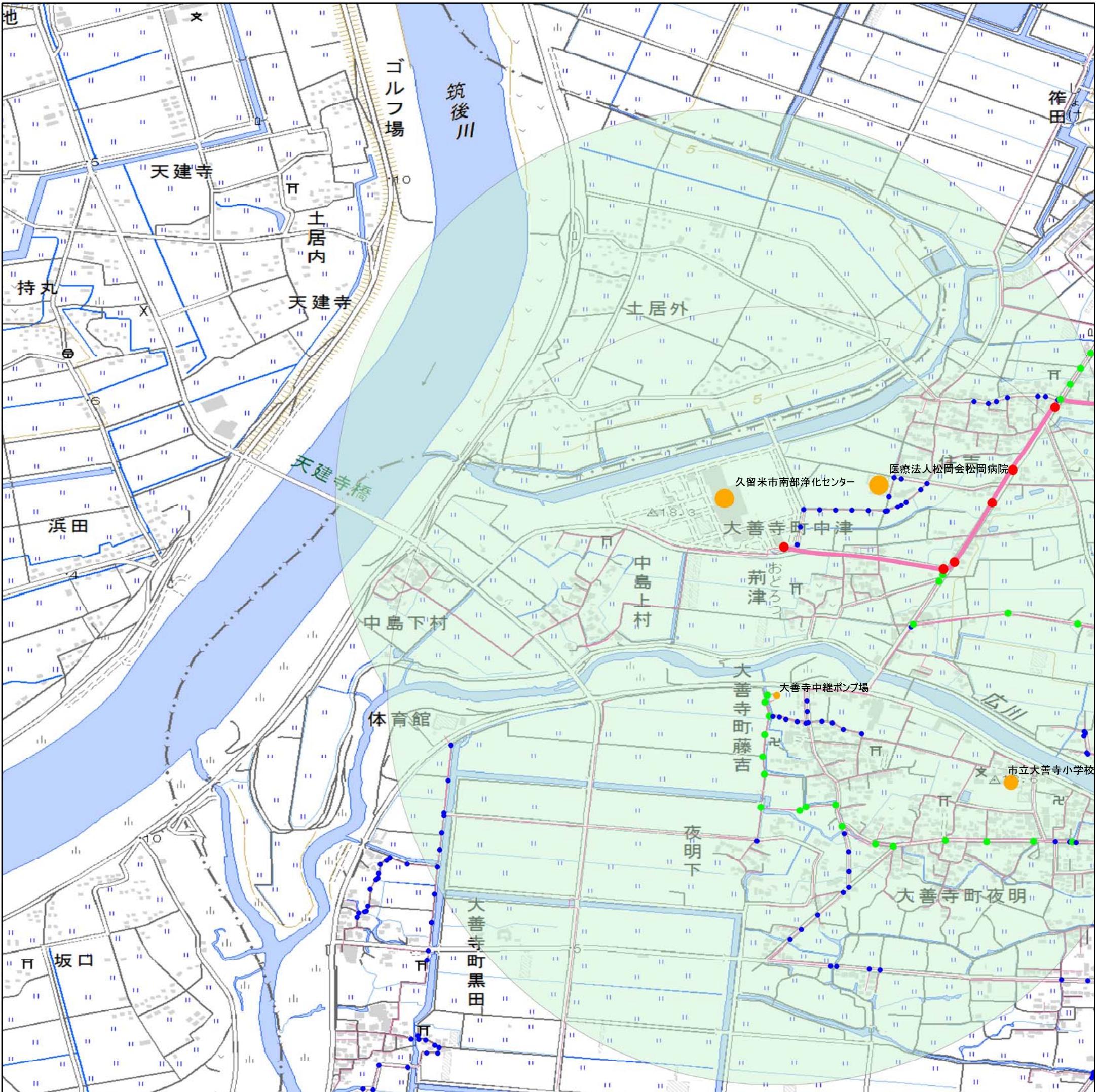
の代表日の晴天日ポテンシャルを推計して

【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)

（お、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している）

よ、ベースとなるマツノは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





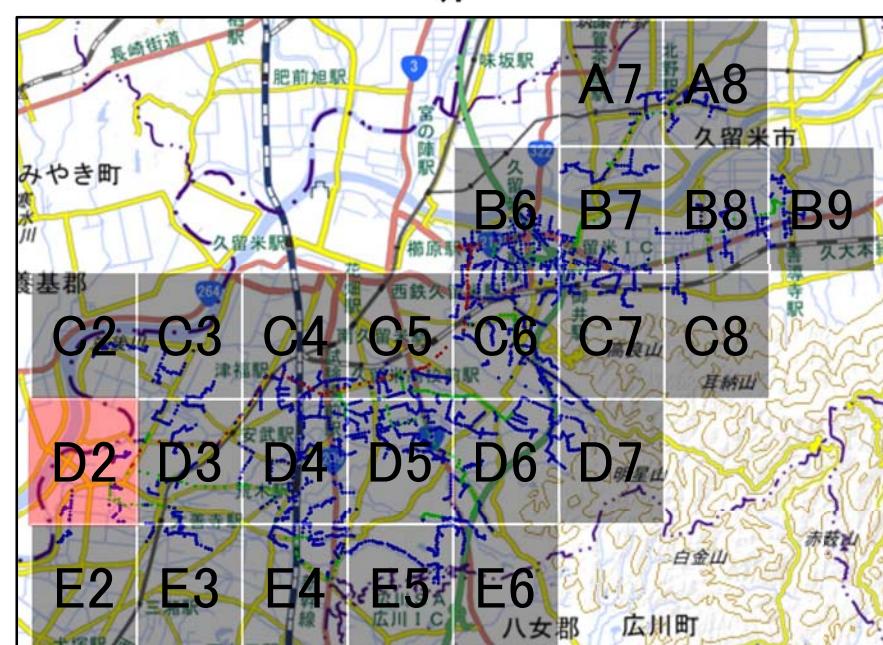
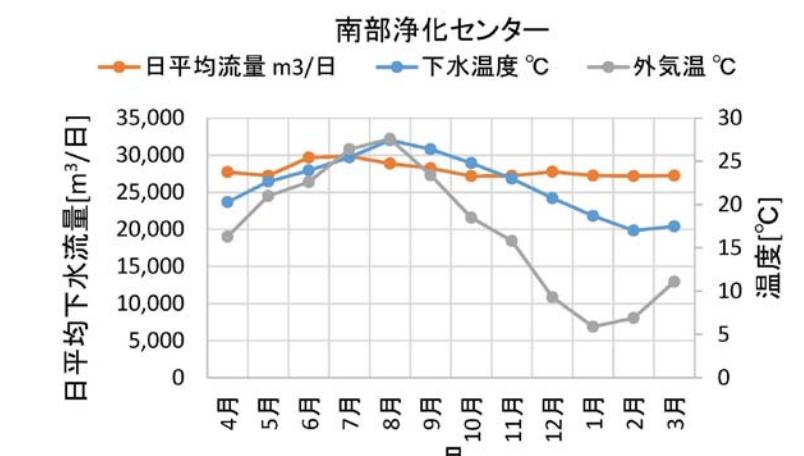
下水熱ボテンシャルマップ 凡例

住宅給湯負荷相当の世帯数目安	下水熱ボテンシャル
15 ~ 300 世帯	516 ~ 10,322 [MJ/日]
301 ~ 3,000 世帯	10,356 ~ 103,216 [MJ/日]
3,001 ~ 世帯	103,251 ~ [MJ/日]

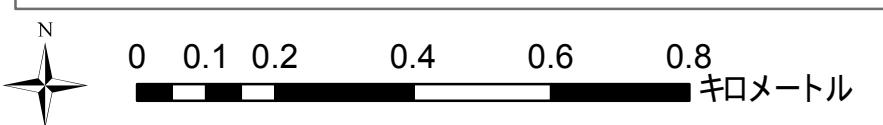
※集合住宅の給湯熱負荷原単位 : 126[MJ/m²年] (空衛学会)
 住宅1世帯の延床面積を100m²と想定。
 ※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

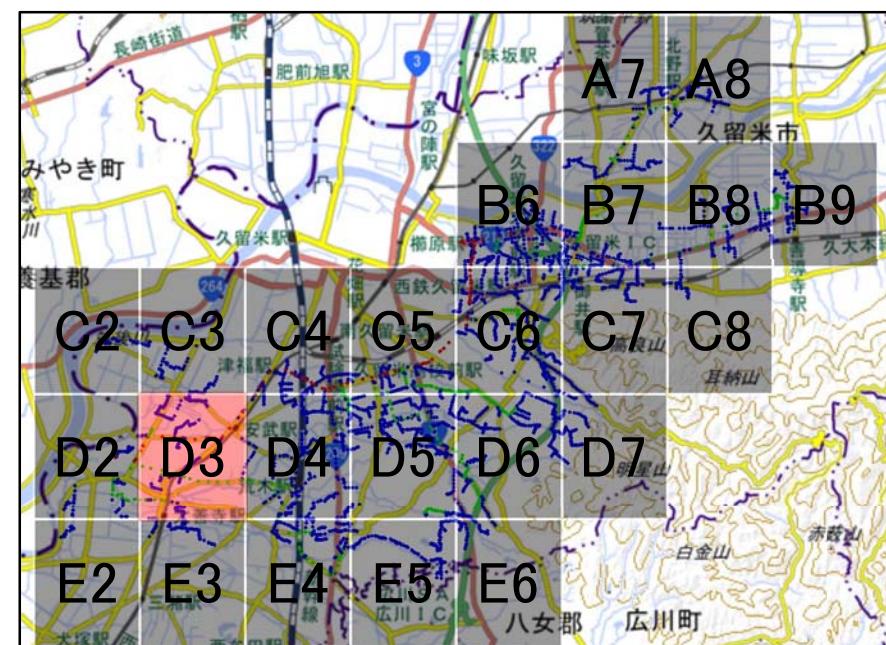
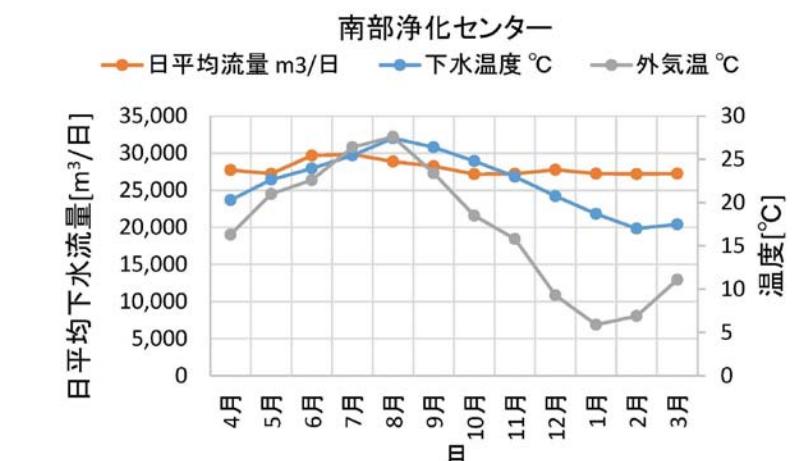
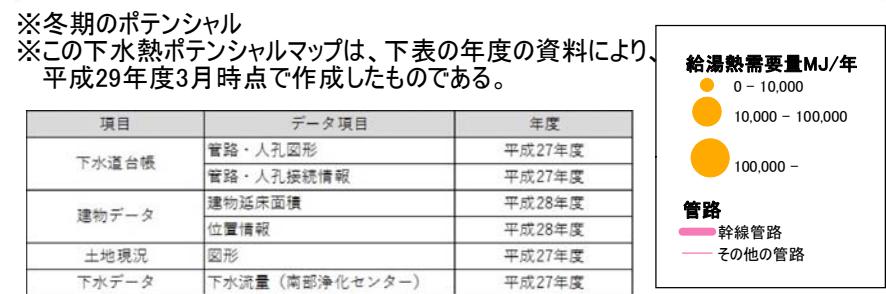
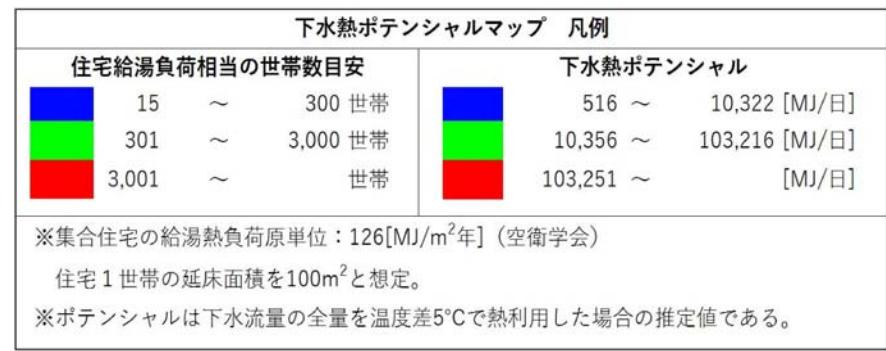
※冬期のボテンシャル
 ※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量 (南部浄化センター)	平成27年度



【注釈】
 ○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。
 ○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
 ○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
 【地図イメージの著作権について】
 本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
 (Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
 なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





【注釈】

○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。

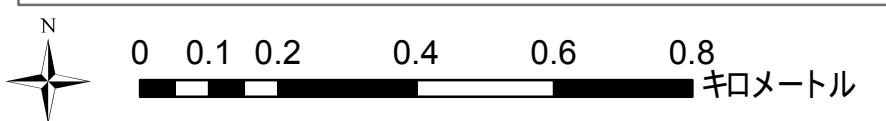
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。

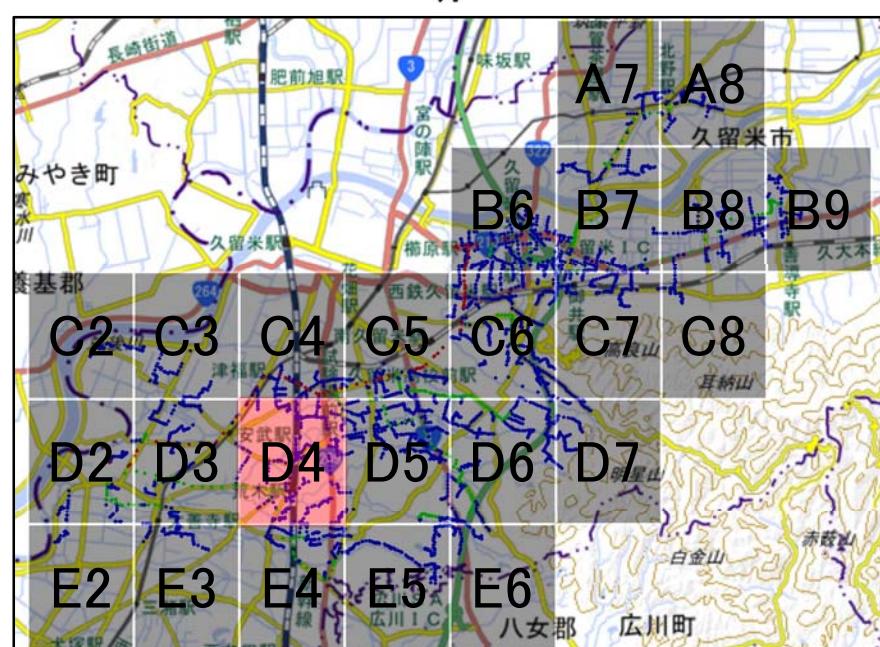
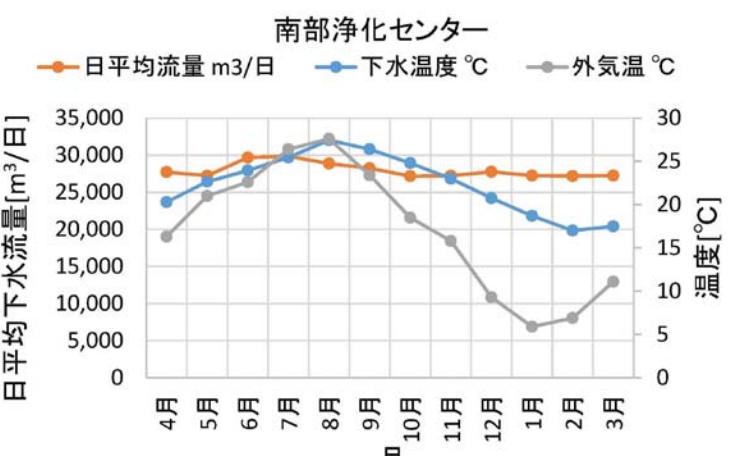
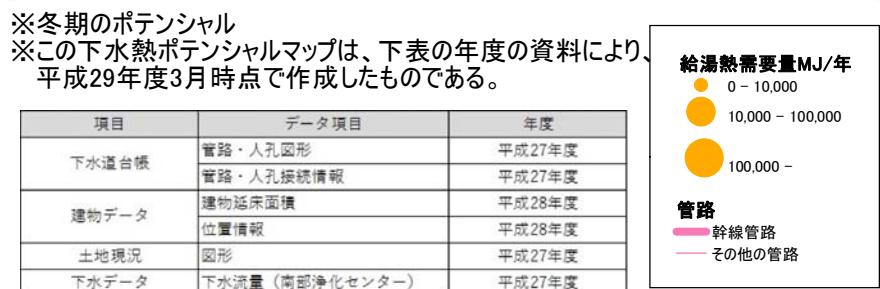
○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。

【地図イメージの著作権について】

本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)

なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





【注釈】

○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。

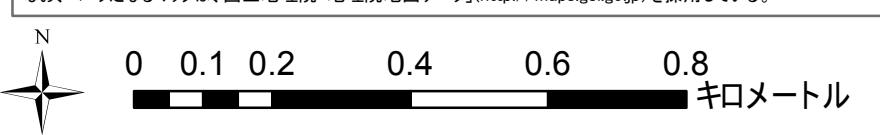
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。

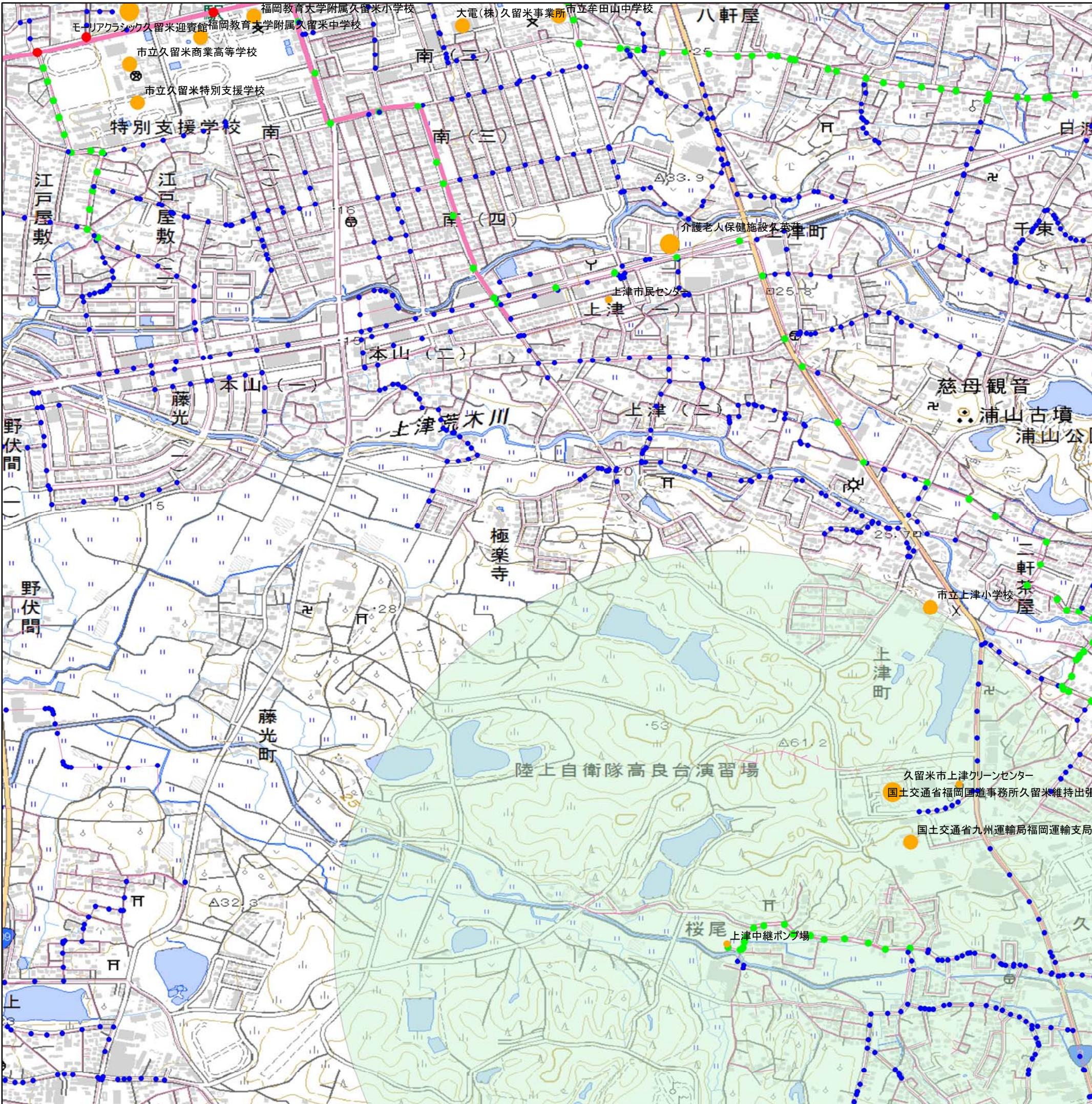
○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。

【地図イメージの著作権について】

本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)

なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。

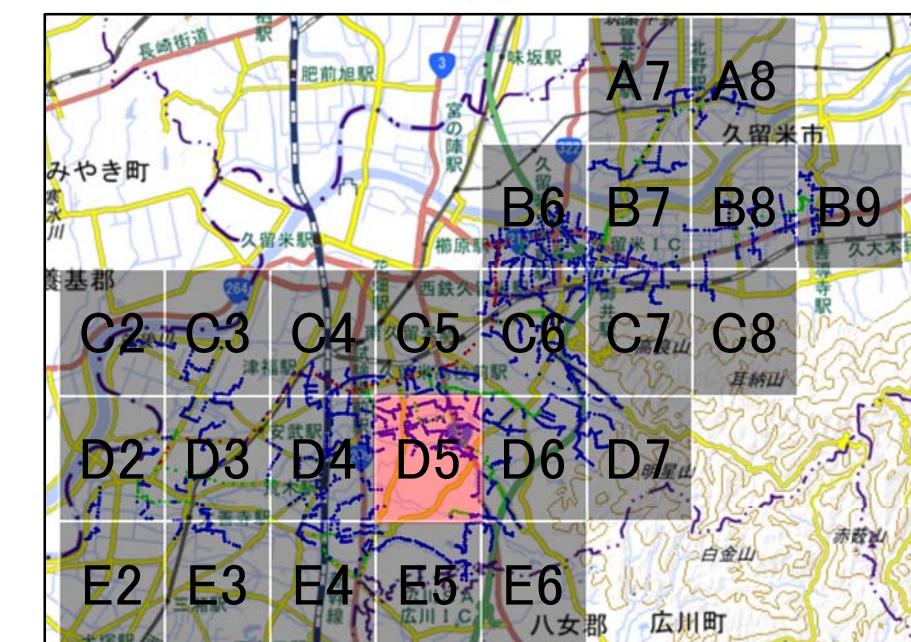
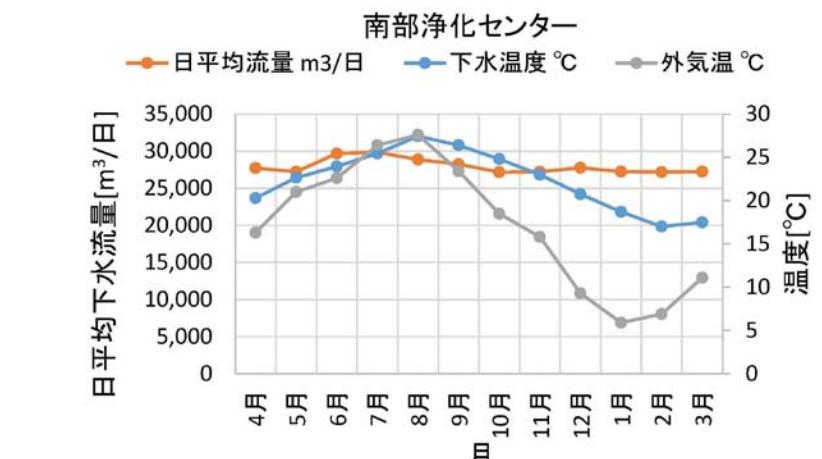




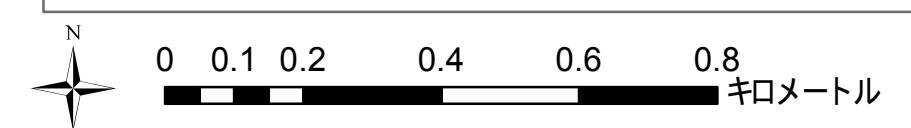
下水熱ボテンシャルマップ 凡例		
住宅給湯負荷相当の世帯数目安		下水熱ボテンシャル
15 ~ 300 世帯	516 ~ 300 世帯	10,322 [MJ/日]
301 ~ 3,000 世帯	10,356 ~ 103,216 [MJ/日]	103,216 [MJ/日]
3,001 ~ 世帯	103,251 ~ [MJ/日]	[MJ/日]
※集合住宅の給湯熱負荷原単位：126[MJ/m ² 年]（空気学会）		
住宅1世帯の延床面積を100m ² と想定。		
※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。		

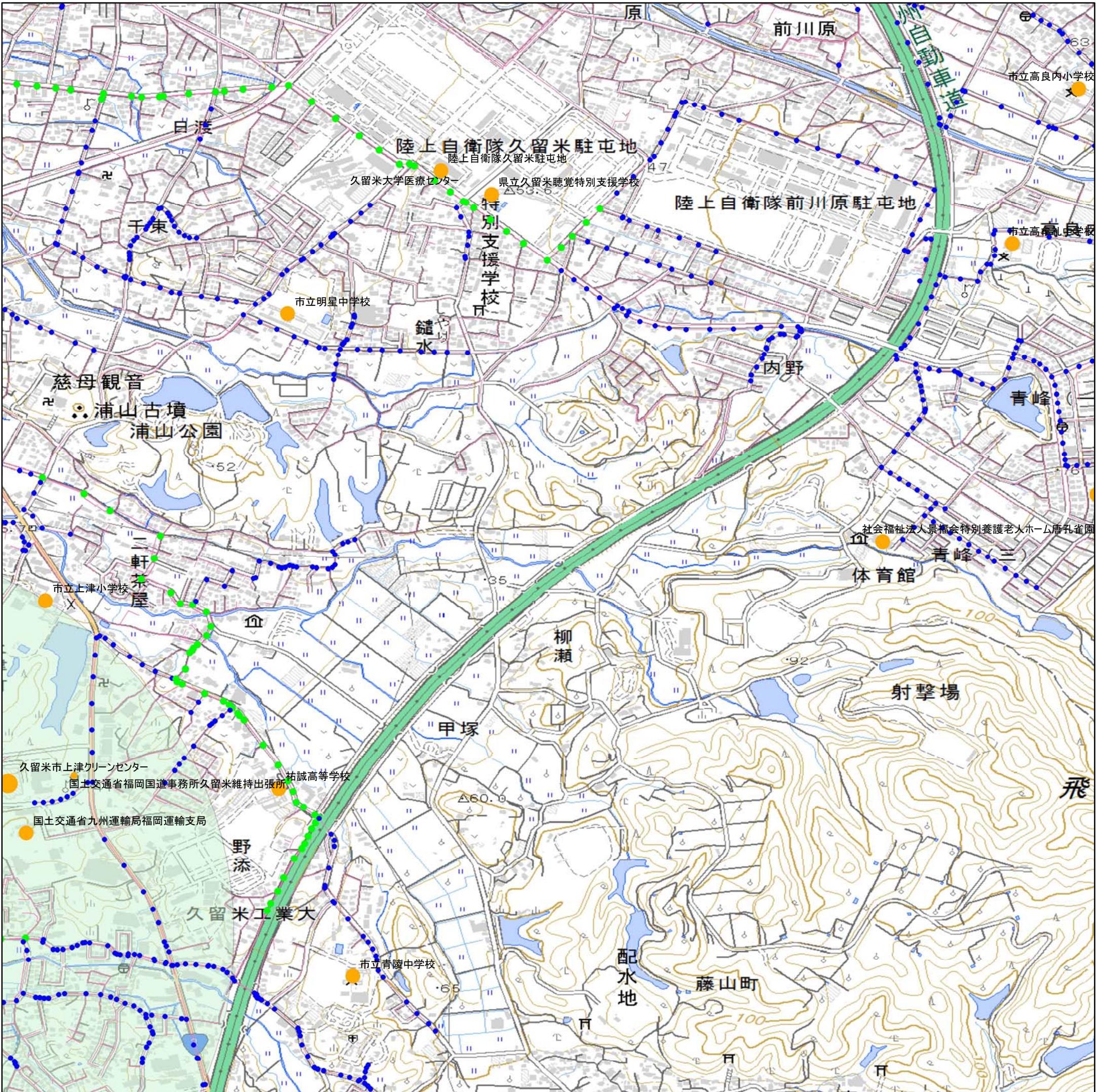
※冬期のボテンシャル
※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





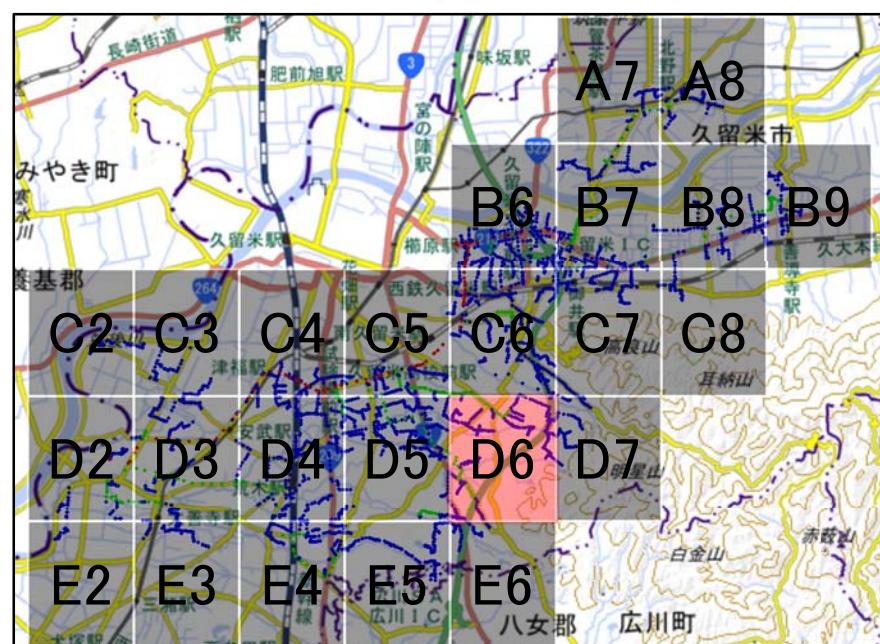
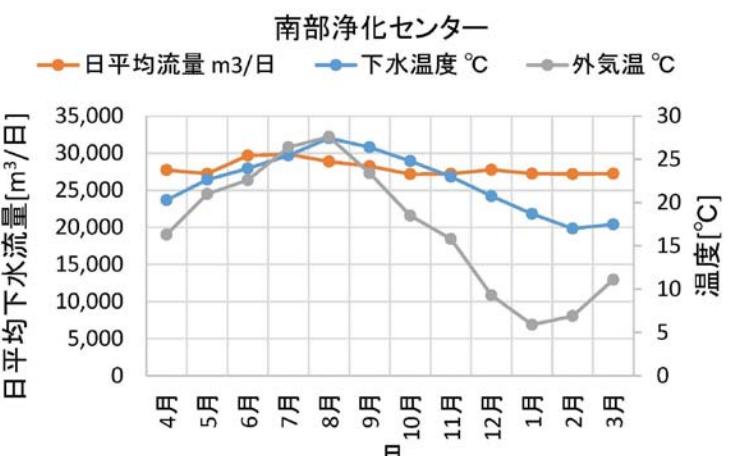
下水熱ボテンシャルマップ 凡例

住宅給湯負荷相当の世帯数目安		下水熱ボテンシャル	
15 ~	300 世帯	516 ~	10,322 [MJ/日]
301 ~	3,000 世帯	10,356 ~	103,216 [MJ/日]
3,001 ~	世帯	103,251 ~	[MJ/日]

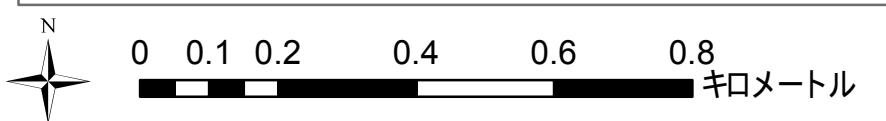
*集合住宅の給湯熱負荷原単位: 126[MJ/m²年] (空調学会)
 住宅1世帯の延床面積を100m²と想定。
 *ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

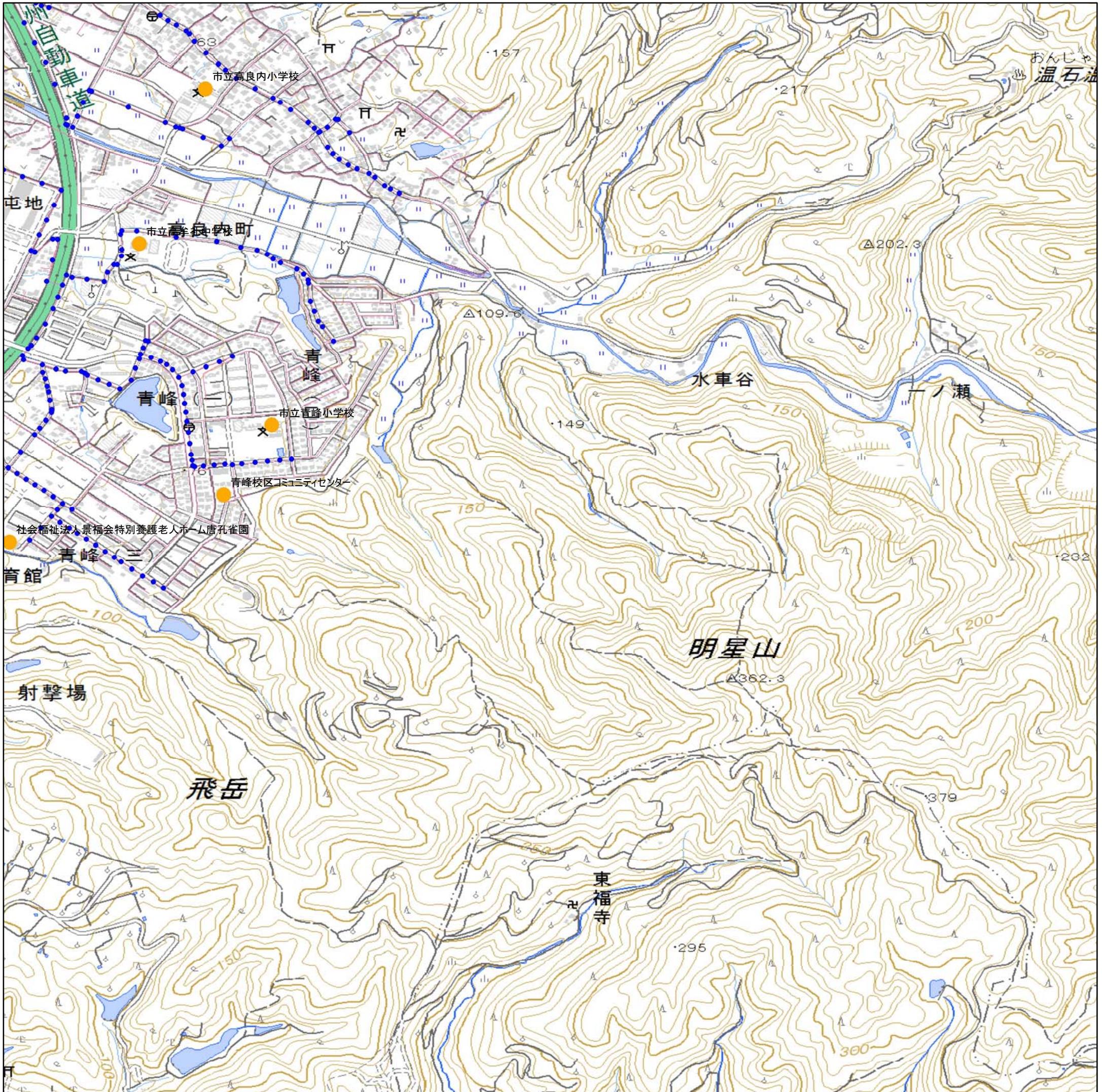
*冬期のボテンシャル
 *この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量 (南部浄化センター)	平成27年度



【注釈】
 ○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。
 ○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
 ○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
 【地図イメージの著作権について】
 本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
 (Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
 なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





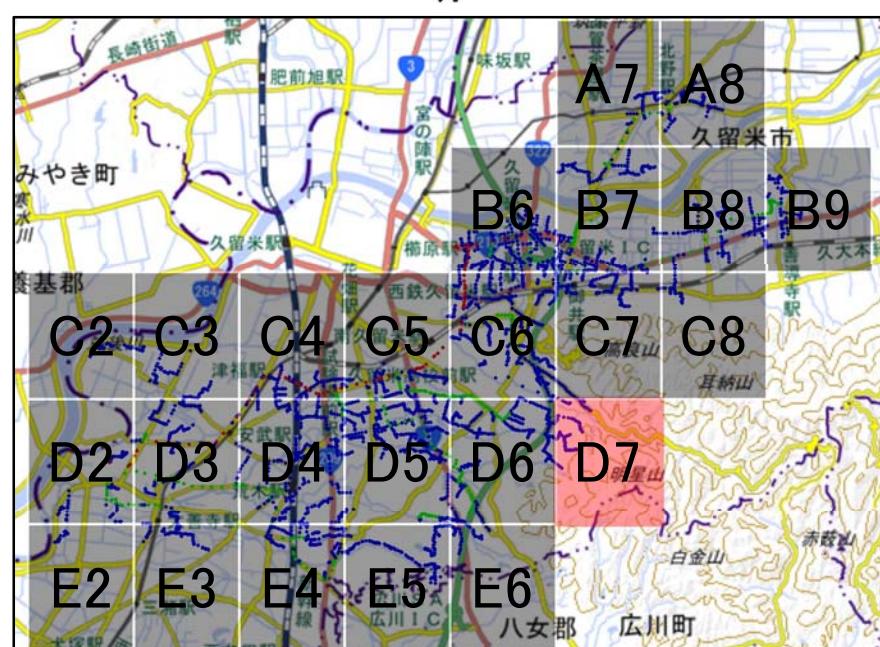
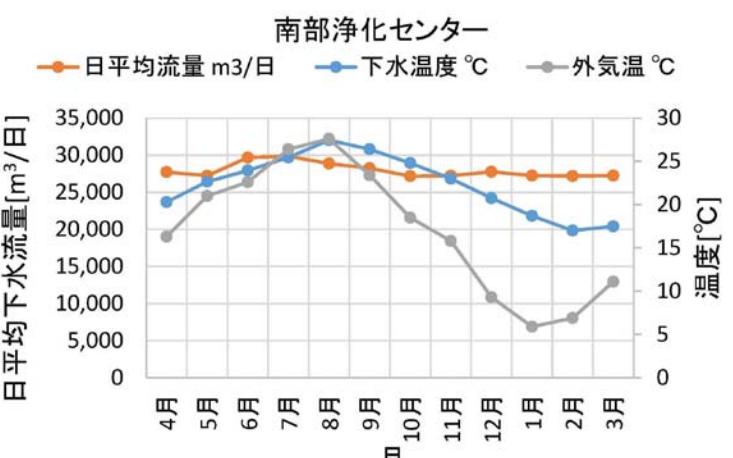
下水熱ボテンシャルマップ 凡例

住宅給湯負荷相当の世帯数目安		下水熱ボテンシャル	
15 ~ 300 世帯		516 ~ 10,322 [MJ/日]	
301 ~ 3,000 世帯		10,356 ~ 103,216 [MJ/日]	
3,001 ~ 世帯		103,251 ~ [MJ/日]	

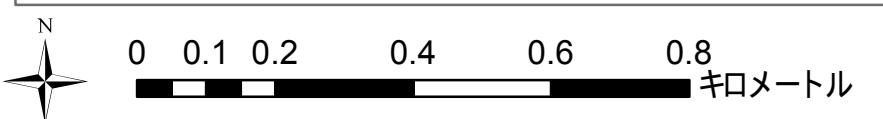
※集合住宅の給湯熱負荷原単位：126[MJ/m²年]（空衛学会）
 住宅1世帯の延床面積を100m²と想定。
 ※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

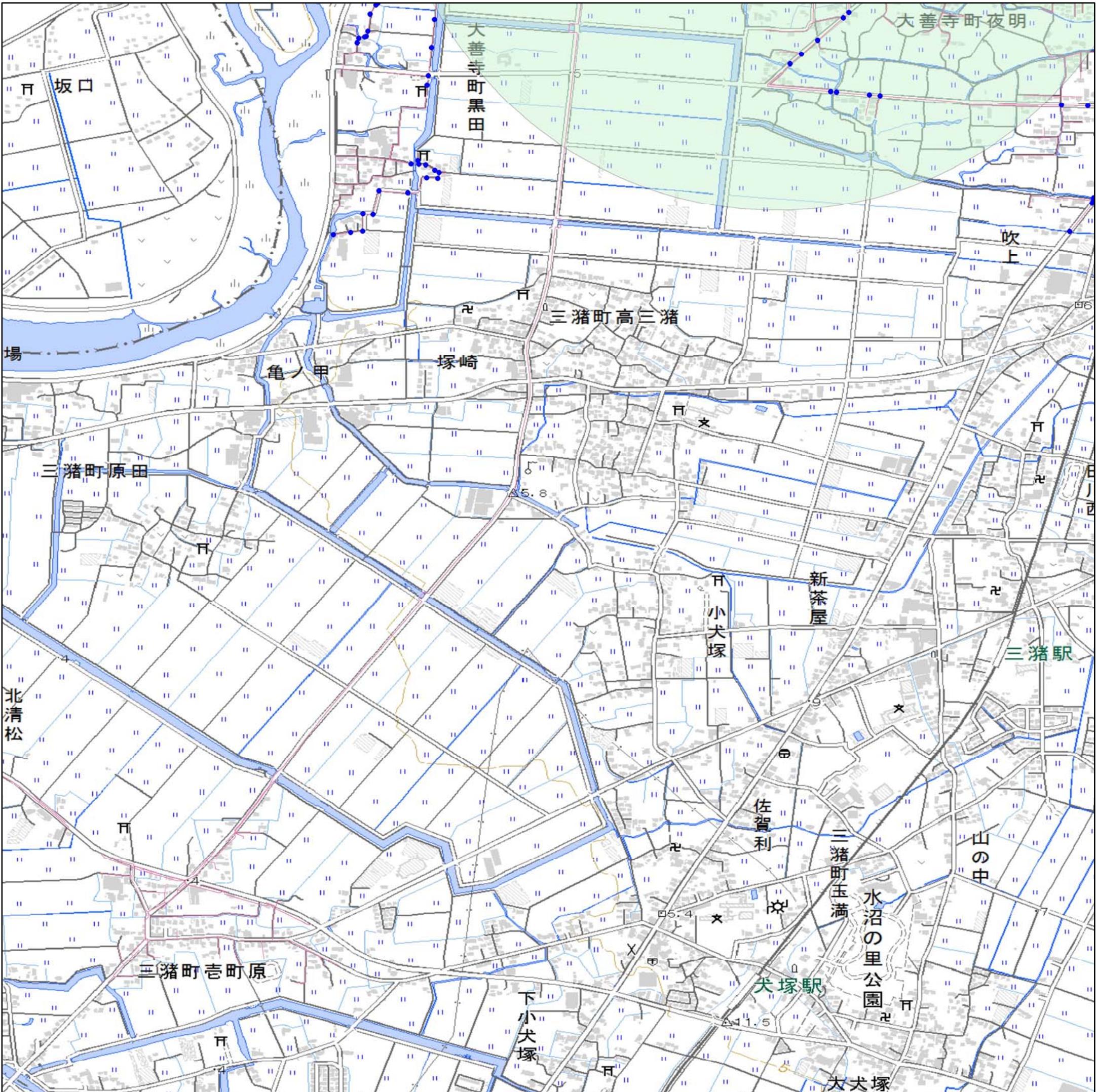
※冬期のボテンシャル
 ※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度



【注釈】
 ○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。
 ○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
 ○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
 【地図イメージの著作権について】
 本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
 (Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
 なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





下水熱ボテンシャルマップ 凡例

住宅給湯負荷相当の世帯数目安	下水熱ボテンシャル
15 ~ 300 世帯	516 ~ 10,322 [MJ/日]
301 ~ 3,000 世帯	10,356 ~ 103,216 [MJ/日]
3,001 ~ 世帯	103,251 ~ [MJ/日]

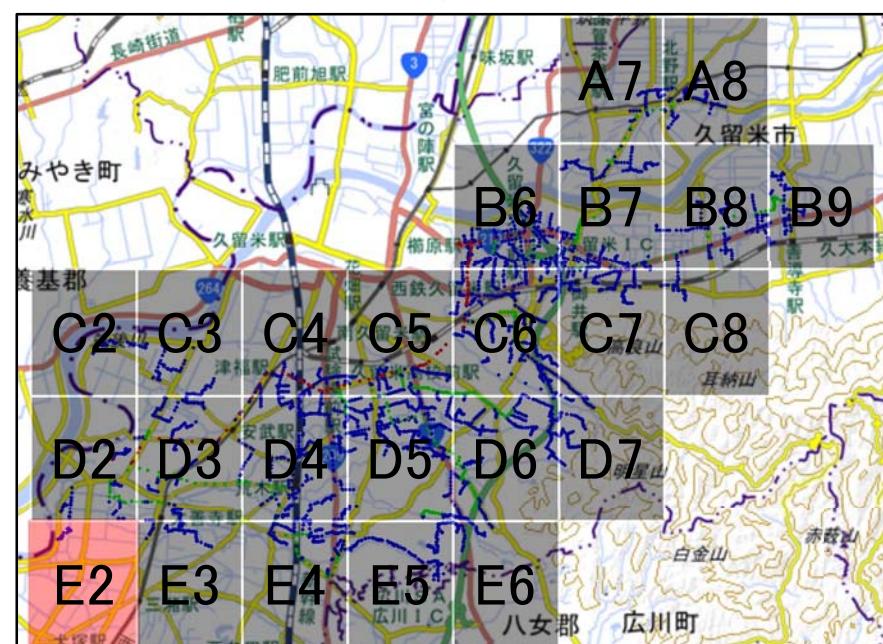
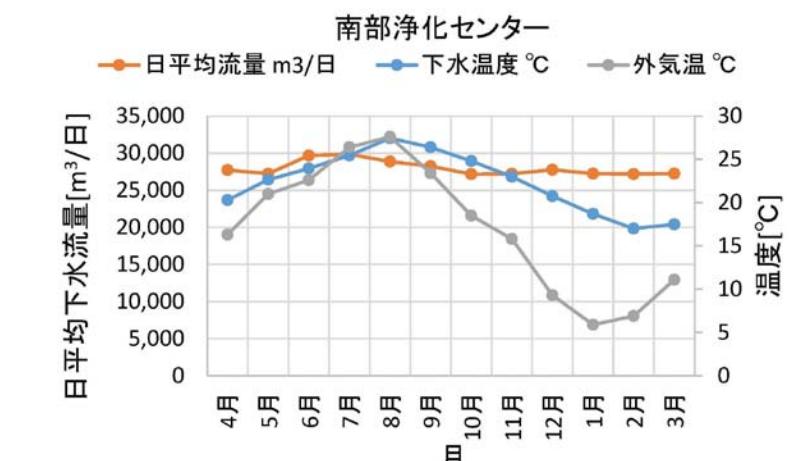
※集合住宅の給湯熱負荷原単位：126[MJ/m²年]（空衛学会）

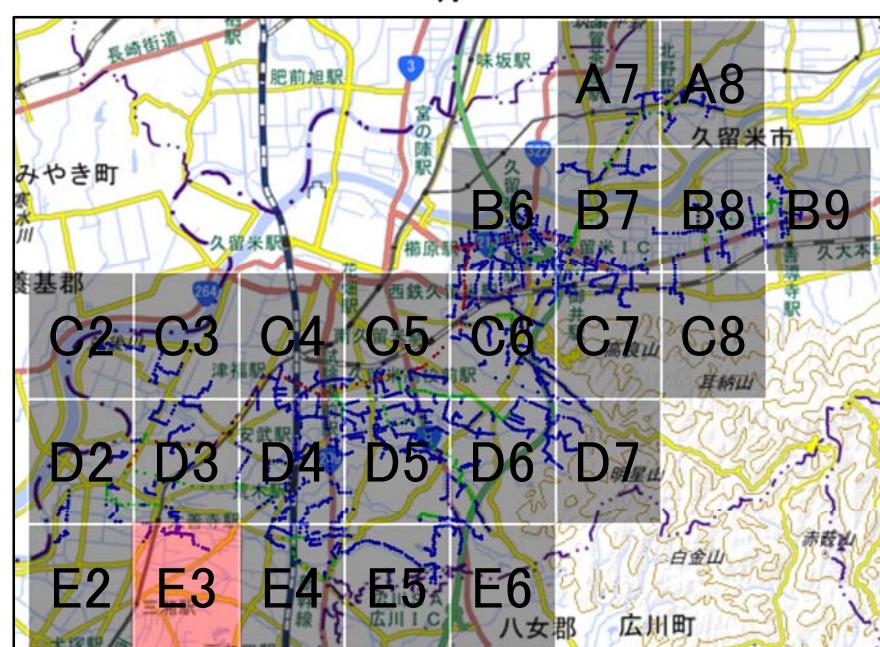
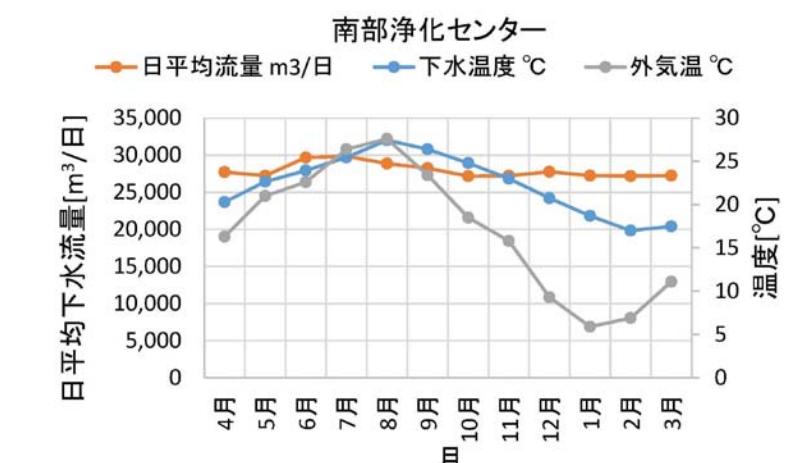
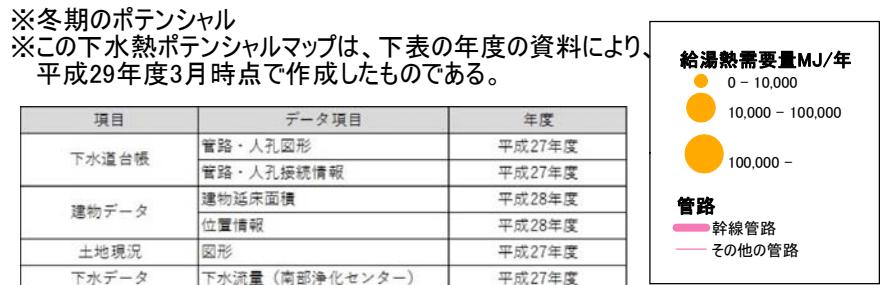
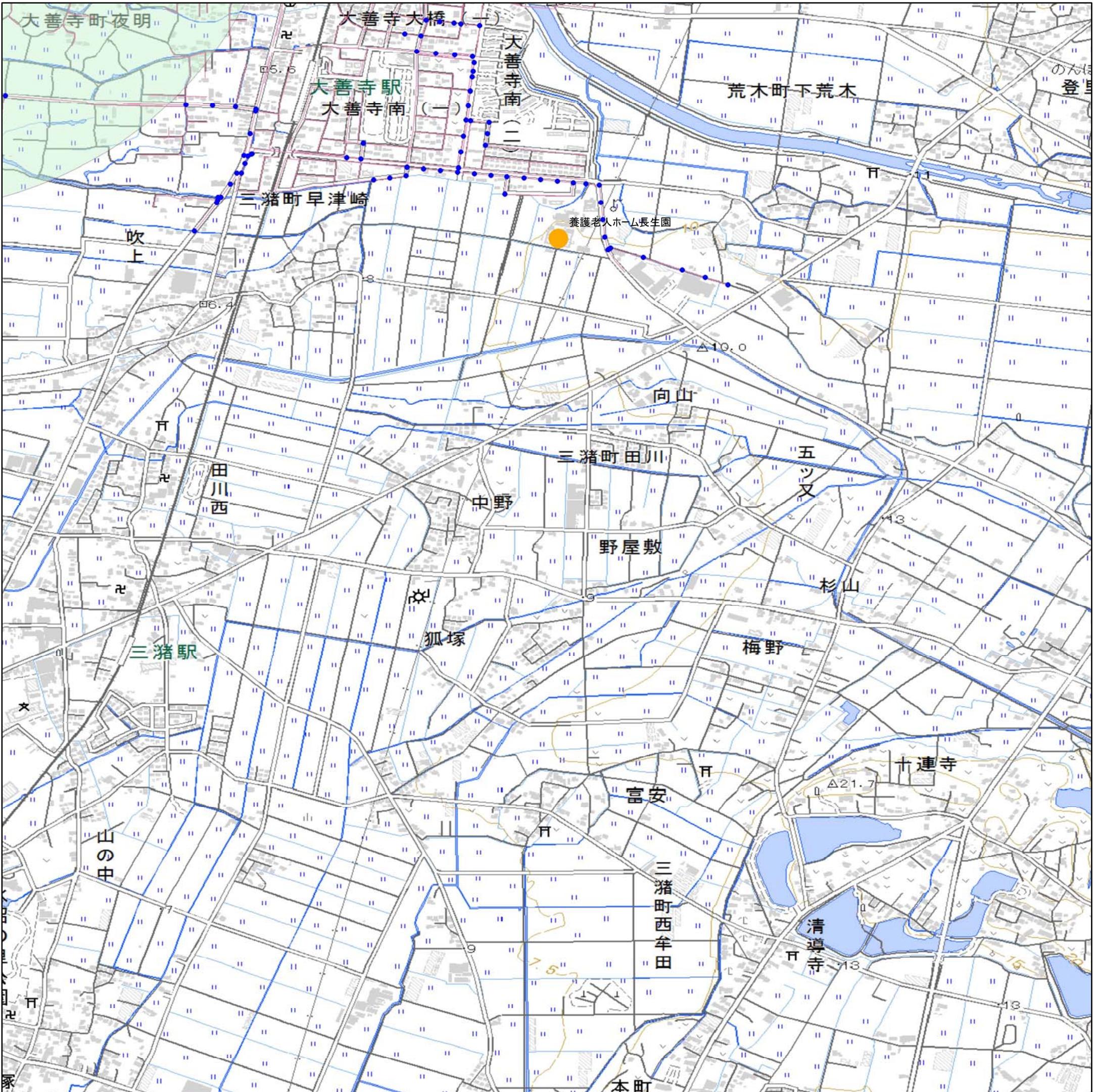
住宅1世帯の延床面積を100m²と想定。

※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

※冬期のボテンシャル
※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度





【注釈】

○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。

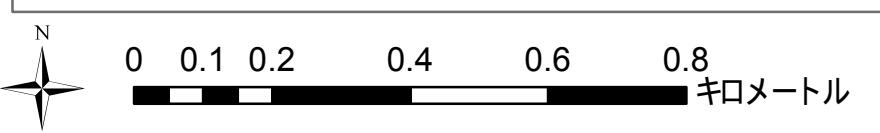
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。

○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。

【地図イメージの著作権について】

本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)

なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。



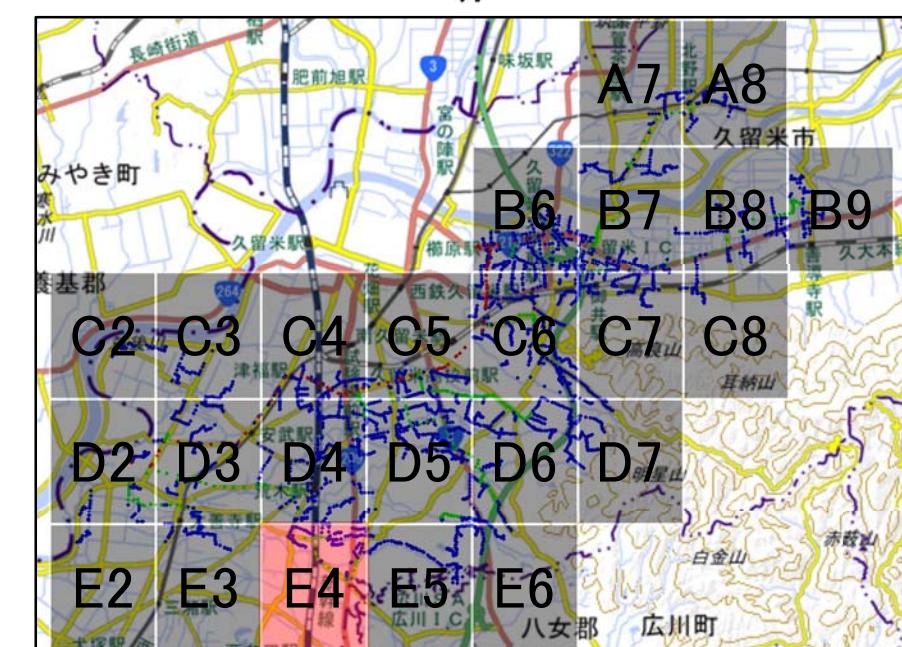
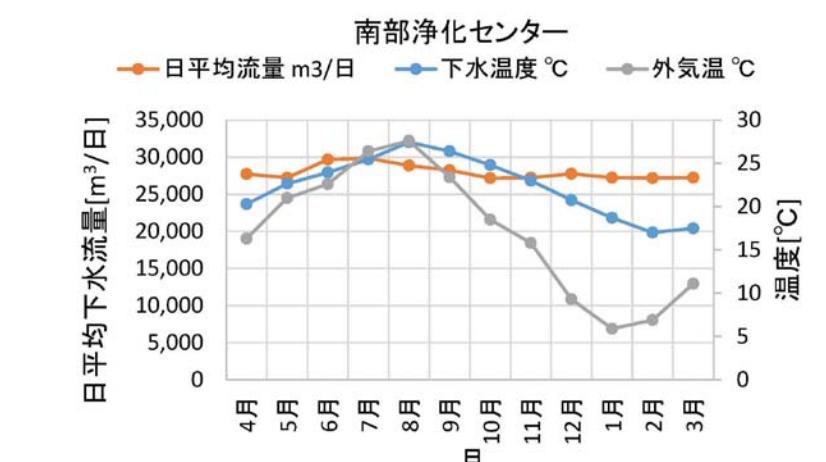


下水熱ポтенシャルマップ 凡例					
住宅給湯負荷相当の世帯数目安			下水熱ポтенシャル		
	15	～	300	世帯	 516 ～ 10,322 [MJ/日]
	301	～	3,000	世帯	 10,356 ～ 103,216 [MJ/日]
	3,001	～	世帯	 103,251 ～ [MJ/日]	

※各期のポテンシャル

※この下水熱交換ユニットは、下水の年度の資料に記載

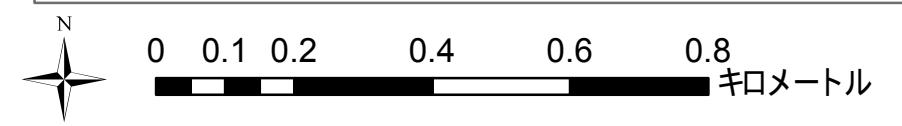
項目	データ項目	年度	
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度	 10,000 - 100,000
	管路・人孔接続情報	平成27年度	 100,000 - 1,000,000
建物データ	建物延床面積	平成28年度	
	位置情報	平成28年度	
土地現況	図形	平成27年度	
下水データ	下水溝量 (南部浄化センター)	平成27年度	

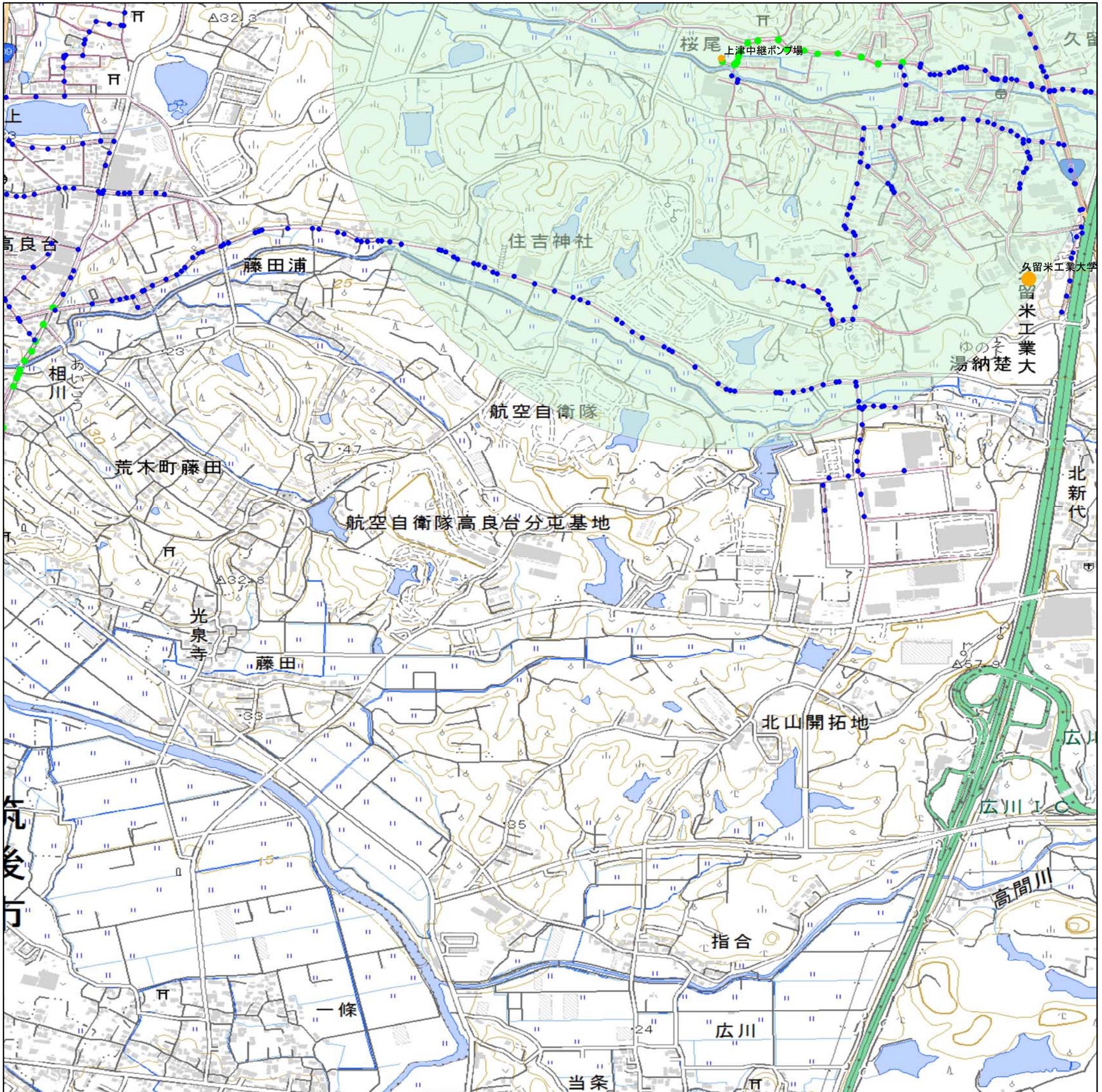


【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポтенシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管課・国土保全局下水道部)に基づき、
下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差 5°C としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。

○代表日の晴天日ポテンシャルを推計して

【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用しています。





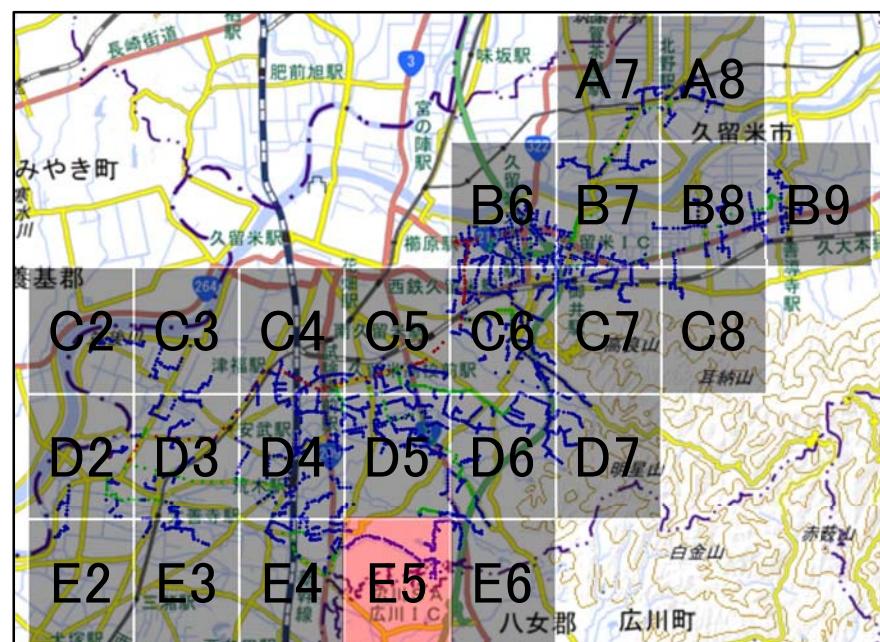
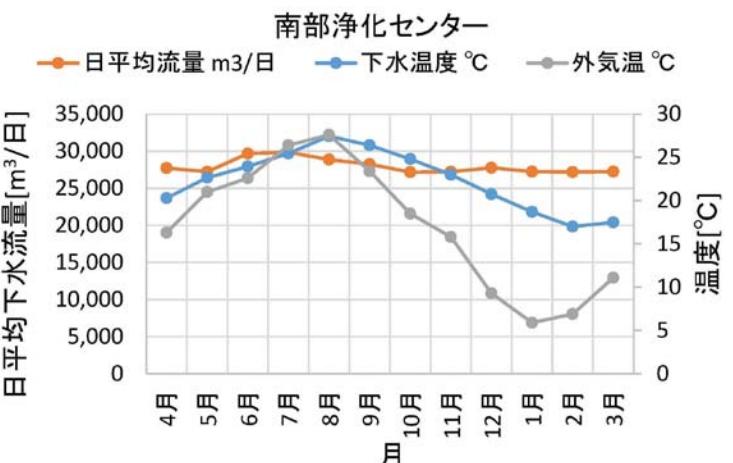
下水熱ボテンシャルマップ 凡例

住宅給湯負荷相当の世帯数目安		下水熱ボテンシャル	
15 ~	300 世帯	516 ~	10,322 [MJ/日]
301 ~	3,000 世帯	10,356 ~	103,216 [MJ/日]
3,001 ~	世帯	103,251 ~	[MJ/日]

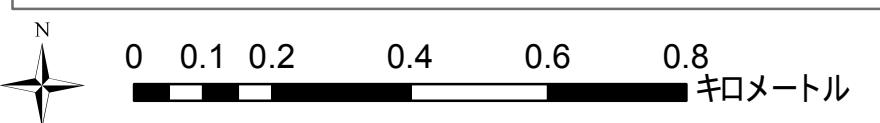
※集合住宅の給湯熱負荷原単位：126[MJ/m²年]（空衛学会）
住宅1世帯の延床面積を100m²と想定。
※ボテンシャルは下水流量の全量を温度差5°Cで熱利用した場合の推定値である。

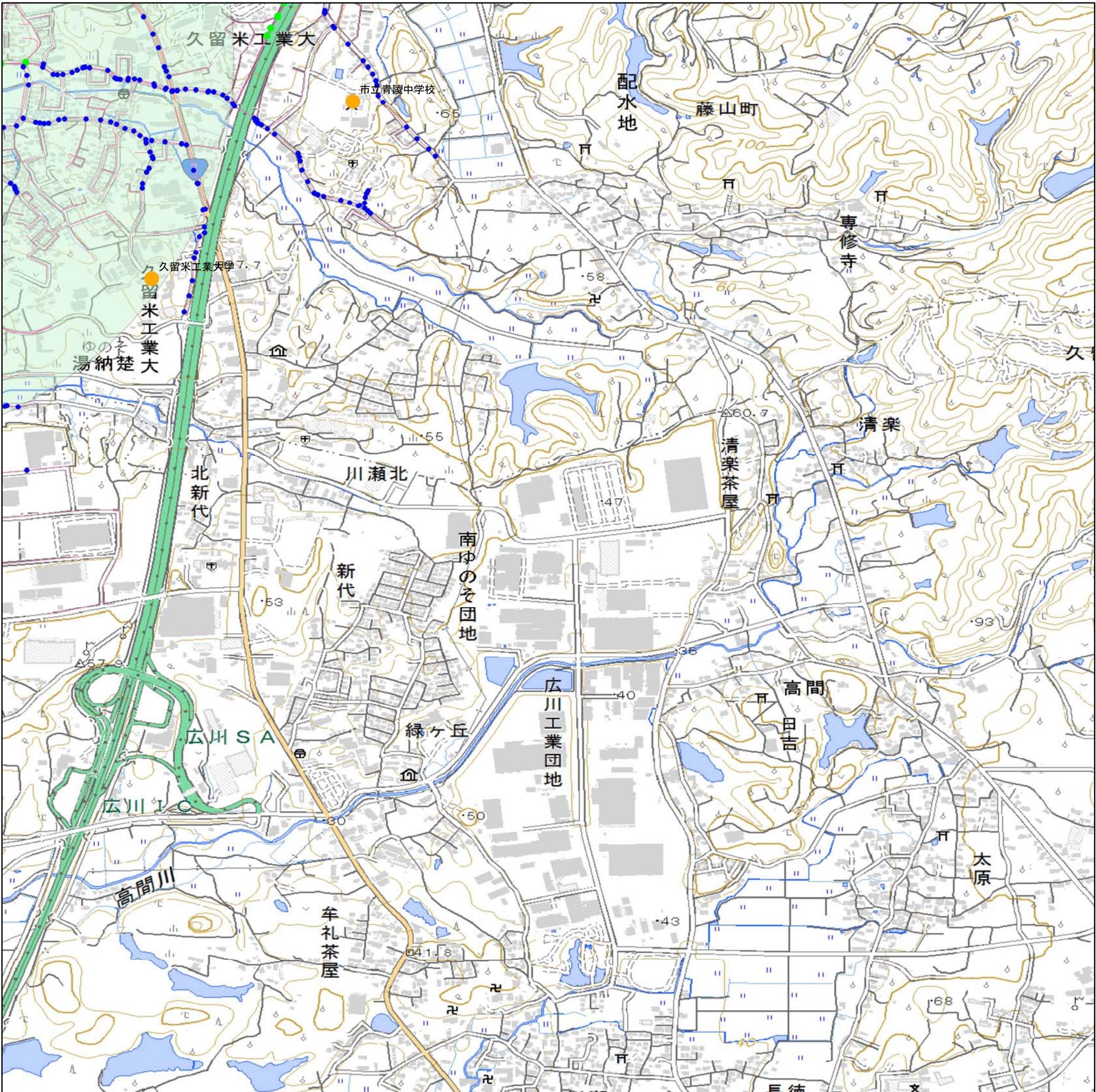
※冬期のボテンシャル
※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度



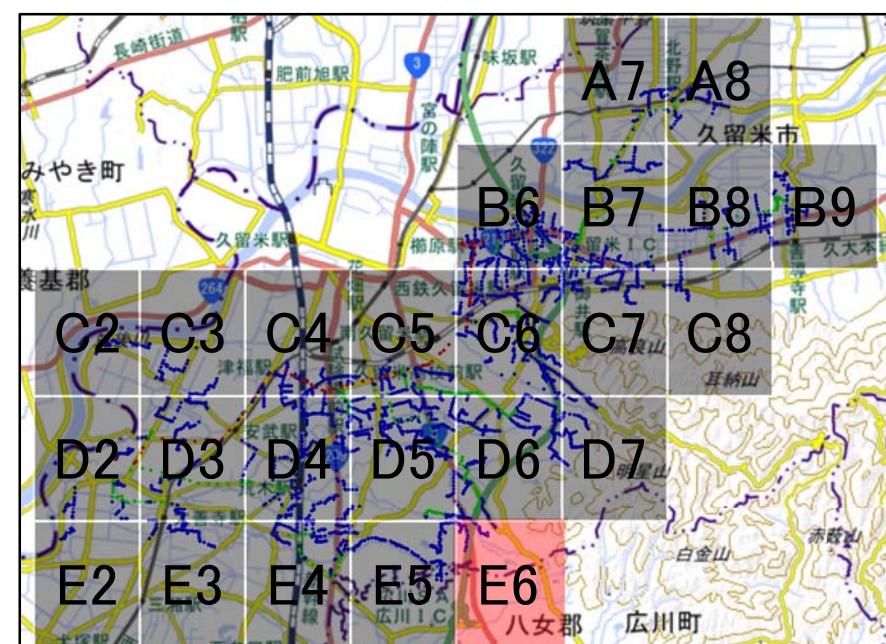
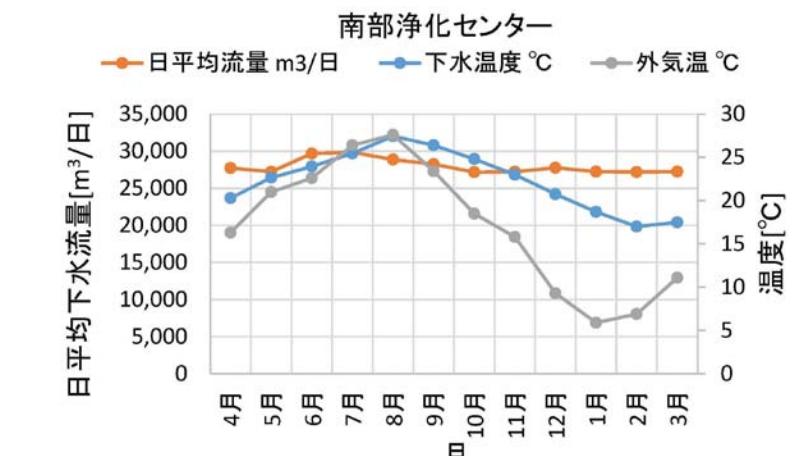
【注釈】
○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管部・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





※冬期のボテンシャル
※この下水熱ボテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点での作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成27年度
	管路・人孔接続情報	平成27年度
建物データ	建物延床面積	平成28年度
	位置情報	平成28年度
土地現況	図形	平成27年度
下水データ	下水流量（南部浄化センター）	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ボテンシャルマップは、「下水熱ボテンシャルマップ(広域ボテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5°Cとしてボテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ボテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいています。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。

